

社会福祉法人 津山福祉会

令和2年度 事業報告

「人が好きだから 一生けんめい」

【 行動指針 】

津山福祉会の事業に従事する職員は、津山福祉会の理念に基づき次の事項を実践します。

- ご利用者を選びません。
- ご利用者を大切にし、権利擁護に努めます。
- お一人お一人の満足を目指します。
- 自己の提供するサービスに責任を持ちます。
- 自己の研鑽に努めます。
- 地域を大切にし、地域にお住いの高齢者の方、家族の方のご相談に親切に応じます。

▶ 重点項目

- * 暮らしの継続
- * 高齢者の自律と自立の支援
- * 高齢者を支える家族等の支援
- * 高齢者を支援する専門性の向上と職業倫理の浸透
- * 地域との連携の推進と地域の中の高寿園を意識した広報

▶ サービスの質の向上

- * 看取りケア指針の見直しと多職種協働によるケアとその評価システムの構築
- * 経口維持等高齢者の自立の支援に資するケア
- * 介護過程の展開に沿った根拠に基づくケア
- * 個別のニーズの把握と支援計画に基づく多職種協働
- * 担当指導者を中心としたグループによるきめ細かな新任者育成
- * 育成担当者、リーダー等役割毎の成果の検証
- * 円滑なサービス提供体制についての定期的な協議
- * 事業実施状況及び経営状態の把握と課題の検討
- * 研修の実施、受講、資格取得支援

▶ 地域との連携

- * 地域への情報発信
- * 公開講座、出前講座
- * 交流ホールを活用した地域交流事業の実施
- * 「運営推進協議会」の設置（地域住民の参加要請等）

▶ 生活支援事業

- * 生活支援サポーター養成事業
- * 地域のニーズ把握と生活支援サポーターのマッチング
- * リエゾンソーシャルワーカー（生活支援コーディネーター）の配置
- * 生活支援サポーター養成事業関連における他事業所との連携推進

○ 介護保険事業

新型コロナウイルスのまん延は、介護サービスの提供、従事するスタッフをとりまく環境、入居者・利用者の暮らしに大きな変化をもたらしました。そのような中、国や自治体、関係団体からの通達等に則り迅速に命と暮らしを守るルール作りを行い、安全な介護サービスの提供を継続しました。

ユニット型特別養護老人ホーム 80床 ユニット型短期入所生活介護 19床
 地域密着型通所介護 定員15名
 ふれあい交流通所サービス 定員10名 元気いきいき通所サービス 定員10名
 生活支援サポーター訪問サービス

○ 地域福祉の推進と地域連携

1) 運営推進会議の開催

津山市北部地域の福祉活動に関わる機関・団体の代表者への活動状況の報告や情報交換を通して、地域に開かれた事業運営及びサービスの質と地域福祉の向上を目的として運営推進会議を開催しました。

委 員：町内会長、民生委員、老人クラブ、愛育委員、消防団、公民館、地域代表
 入居者家族、法人理事 11名 オブザーバー 津山市・津山市社協

開催日	内容	出席者
R2.7.28	令和元年度事業報告 地域密着型通所介護事業について 新型コロナウイルス対策について 地域課題について意見交換	委員 10名 職員 10名 法人役員 2名 オブザーバー 2名
R3.2.26	地域密着型通所介護事業、日常生活支援総合事業について 地域事業の実施状況について（次年度に向けて） 無償送迎付きサロン、マルシェ、生活支援サポーター、 おもちゃ図書館、地域センターの活用 地域課題について意見交換	委員 11名 職員 4名 オブザーバー 2名

2) 送迎付き買い物サロン「ここ楽！@こうじゅえん」

平成30年から実施の無償送迎付き買い物サロンここ楽！は、新型コロナウイルスの影響で休止しています。

ここ楽！の長期の休止により意欲低下や不活性化、身体機能の低下の問題が発生し、地域などから再開を望む声が聞かれました。当園もコロナ禍のなかで少しでも人と人とが関わる場の提供が出来たらと考えていました。そこで、津山市高齢介護課・地域包括支援センター・社会福祉協議会と協働し役割分担して新たな形で再開しました。

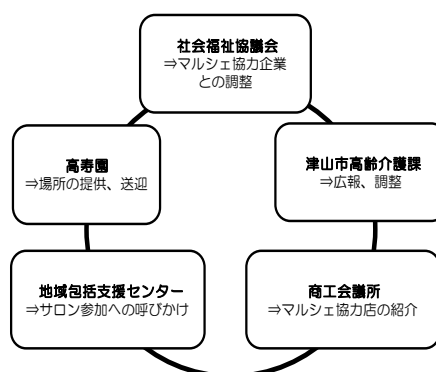
社会福祉協議会には事業のPR、地域包括支援センターにはサロン参加への呼びかけや、実際に参加された方へのフォロー等をしてもらうことで円滑に開催することが出来ました。

開催日時：毎月第4土曜日

10:30～15:00

場 所：高寿園 地域センター

	日時	
第1	R2.10.1	高寿園の打ち合わせ
第2		
第3	R2.12.15	高寿園の打ち合わせ



参加者数

開催日	参加人数	備 考	開催日	参加人数	備 考
R2.11.28	10		R3.2.17	14	
R2.12.19	13		R3.3.27	11	ボランティア2名
R3.1.23	12		合計	0	

《活動内容》

こけないからだ体操、マルシェでの買い物、昼食をとりながらの団欒、フリータイム（ペットボトルボーリング、すごろく、ポケットボール、脳トレなど）

昼食は津山エール飯のお店のお弁当や、実際にお店の方に来ていただいて出来立ての定食をいただきました。

参加者の声

「温かくて皆さんと食べると余計に美味しい。」

「今どこにも行けないから嬉しい。」

「ここは安心（福祉施設だから感染防止などがしっかりしている）。」

「ここに月に1回来て1か月分笑って帰るの。そしてまた1か月後に来るのが楽しみ。」

※感染予防（手洗い、手指消毒、パーテーションでの区切り、検温）の徹底、送迎時も密にならないため少人数での送迎にし、伺う際に検温を実施しました。

参加者が日ごろから正しい感染対策が出来るように看護師長から手指消毒の講話をしてもらいました。

〇マルシェ

社会福祉協議会の担当者とともに市内のお店にマルシェへの出店をお願いしました。マルシェを開催することにより他年代の交流の場としての機能を果たし、“より身近な”地域の集いの場へとつながりました。開催を重ねるうちに商工会議所とのつながりもでき、マルシェへの協力店も増えつつあります。

また、マルシェに興味をもたれた地域の方からの依頼があり、北部地域の集会所への出店にもつながりました。このように地域にある多様な団体や企業と接点をもつことで地域のネットワークの活性化を目指しました。

マルシェ協力店

- ・パン工房エピ
- ・ナンバホームセンター
- ・移動スーパーとくし丸
- ・早瀬豆腐店
- ・ボン菓子ボンちゃん
- ・あっちゃんの大きな木
- ・住民自治協



3) 「生活支援サポーター事業」の実施

高齢者等の日常生活上の困りごとの手助けを行う生活支援サポーター事業に取り組みました。

ちょっとした困りごとを生活支援サポーターが解決することで、住み慣れた地域での生活が継続でき、定期的に生活支援サポーターが訪問することで、見守りや困ったことがあった時に相談しやすい馴染みの関係が構築されています。また、地域の元気な高齢者等が生活支援サポーターの担い手となり、サポーター活動を通じて役割を持つことで生きがいづくりや介護予防に繋がっています。

（日常生活支援総合事業）

津山市の日常生活支援総合事業の協力事業所としての、生活支援サポーター訪問サービスは利用には至りませんでした。

(独自事業)

津山市の総合事業の協力事業所として、サポーターのコーディネート業務を行いました。津山市の日常生活支援総合事業だけでは対応できない、生活支援を希望されている方に対して、高寿園独自事業として生活支援サポーターのコーディネートを行いました。

依頼内容	利用者(総合)	利用者(独自)	活動数(総合)	活動数(独自)	活動数(合計)
ゴミ出し		2		42	42
掃除		3		24	24
合計	0	5	0	66	66

・コーディネート業務に関する相談

内 容	件数
生活支援サポーターの依頼（実施に至らなかったケース）	1件
サポーター事業に関する概要の問い合わせ	1件
合 計	2件

・生活支援サポーター事業の利用者への訪問

内 容	件数
利用料の集金と活動状況の確認	53件
担当者会議	1件
その他（活動の打ち合わせなど）	3件
合 計	57件

・生活支援サポーター訪問サービス事業情報交換会への出席

津山市の生活支援サポーター事業協力事業所の情報交換会に出席しました。

(31ページ 会議等参照)

4) 行事・ボランティアの受け入れ

コロナ禍においても入居者、利用者に季節ごとの楽しみを感じてほしいと思い、行事企画に努めました。ボランティアの受け入れについては、一時受け入れを中止していましたが来園2週間前からの体調チェックを行っていただくなどしながら徐々に再開しました。

団体数 : 4団体 延べ人数48人
個人 : 延べ11名

※ 別紙2（ボランティア・行事一覧）

・キャンドルナイト

コロナ禍で働く介護従事者、制限をうけている利用者が一日でも早く元の生活に戻れることを願い展開された、岡山県老人福祉施設協議会21世紀委員会の「キャンドルリレー」の一環としてキャンドルナイトを実施しました。キャンドルをともすカップに多くの皆さんがメッセージを寄せてくださいました。



カップデザイン協力

どんぐり工房、リンリンかけはし、高倉小学校、北部地区民生児童委員、語りの会いろりばた

5) 子ども応援事業

- おもちゃ図書館（地域センターの貸し出し）

コロナ禍のため定期開催を中止し、予約制で地域センターにおもちゃを設置し、子育て団体等に地域センターの貸し出しを行いました。合わせておもちゃの貸し出しも行いました。

地域センター利用件数 3件

おもちゃの貸し出し 3件

- つやまっ子かけこみ110番

高倉小学校区の「つやまっ子かけこみ110番」の協力施設として、地域の子どもたちの安全と安心な環境づくりに協力しました。

6) 相談援助事業

高齢者に限らず、生活のお困り事、心配ごと等の相談を受け付けました。

相談窓口：各事業所の相談援助スタッフ

○ 防災対策

* 自主組織による防災訓練の実施

実施日	避難訓練・講習等	講師・協力	利用者	職員
R2.5.12	消火訓練 ・ 消火用散水栓放水・消火器による消火訓練	(株)ガット2名		17
R2.11.26	消火訓練・避難訓練(夜間想定) ・ 消火用散水栓放水・消火器による消火訓練 ・ 夜間における安全で迅速な避難誘導の実践	(株)ガット2名	0	26

居室等の電気設備点検 月1回 備蓄品（飲料水・食品等）の確保と管理

* 福祉避難所の整備

津山市から「災害時に要援護者の福祉避難所として民間社会福祉施設等を使用することに関する協定書」に基づき福祉避難所の指定を受け、緊急時に備えました。

○ 感染症対策及びまん延防止

1) 新型コロナウイルス対策

市内で新型コロナウイルス感染確認があったため、在宅サービスの受け入れ、家族の面会、外出の扱い、職員への感染防止策の周知、家族への感染対策と在宅サービス受け入れ時の注意事項、ボランティアや実習生の受け入れ等について協議し、実践と協力依頼を行いました。

- 新型コロナウイルス対策会議 令和2年4月24・25日、8月14日、10月21日

- ゾーニングと感染発生時のシュミレーションを実施

新規入居や退院時の入居者への対応として、入室前にマスク・手袋着用、入室後ガウン着用、退室前にガウンを脱いでマスク・手袋を外して医療廃棄物ボックスに入れるなど、コロナ感染を想定したシュミレーションを行いました。

期間 令和2年11月～12月 対象者 6名

- 入居者、利用者への日々のバイタル測定の実施
- オンライン面会の実施
- 備蓄の整備
- 岡山県感染症発生時の職員派遣事業への登録

○「ワーク・ライフ・バランス」の推進 ～働き続けやすい事業所を目指して～

1) 両立支援事業

- ・ おかやま子育て応援宣言企業 登録 平成28年8月1日（登録証第28008号）
- ・ 津山市ワーク・ライフ・バランス推進企業 認定 平成29年4月1日
- ・ 両立支援委員会 （委員21名）

職員が仕事と家庭の両立ができ、意欲的に働き続けられる職場環境について検討しました。

開催日	協 議 題	出席者
R2.5.12	新型コロナウイルスによる学校休業中の子どもスタッフの受け入れについて	11名
R2.7.7	夏休み期間中の子どもスタッフの受け入れについて 法人の両立支援制度の周知について	10名
R2.11.10	新型コロナウイルスの感染拡大の中、仕事と家庭を両立するうえで困っていること不安に思うことなど	12名

・ 子どもスタッフ

長期休暇等に子どもとともに出勤し、親の職場や仕事に触れる機会を作りました。高齢者とのコミュニケーションやできる手伝いなどの役割を果たすとともに、施設内に明るい笑顔を広げてくれました。



こどもスタッフ出勤状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
人数	7	7		2	2	1						4	23
延べ	24	23		4	5	1						11	68

2) テレワークの実施

コロナ禍で自宅待機が必要になった際、業務が滞らないようにするためテレワークの導入をすすめました。

- ・ テレワーク導入セミナーの開催

日 時：令和2年12月10日

講 師：社会保険労務士 笹井茂樹氏

参加者：11名

- ・ 機器の整備（厚労省 働き方改革推進支援助成金活用）
- ・ 実 施：令和2年11月～ 対象者 9名 実施回数 17回

※ 導入に際して「津山市テレワーク導入についての伴奏型支援協働事業」を活用しました。

- ・ ヒアリング R2.9.24、10.13、R3.2.17

3) 腰痛予防対策

ノーリフティングケア

入居者の尊厳や自立（自律）を支援し、入居者、介護者ともに安全・安心・安楽（快適）な環境を整えるため、人の力で持ち上げない介護を目標にリフト等の福祉機器や用具を有効に活用できるよう努めました。

- ・ ノーリフティングケア推進委員会

開催日	協 議 題	出席者
R2.5.15	リフト使用の入浴表について（個浴・チェアイン・特浴）	12名
R2.5.18	特浴でのリフトの使用について（状況確認）	12名
R2.5.19	身体状況に合った入浴方法（個浴）（状況確認）	13名
R2.5.20	チェアインでのリフトの使用について（状況確認）	7名

開催日	協 議 題	出席者
R2.5.21	特浴でのリフトの使用について（状況確認）	11名
R2.5.22	身体状況に合った入浴方法（個浴）（状況確認）	11名
R2.6.10	入浴でのリフトの使用について	10名
R2.6.26	特浴・チェアインでのリフトの使用について	11名
R2.8.28	ユニットでのリフト使用について	12名
R3.3.31	ユニットでの床走行リフト使用について 特浴天井走行リフトの使用について	15名



* メンタルヘルスケア（心の健康づくり）

- ・ ストレスチェックの実施

令和2年11月1日～11月30日 実施者 4名

結果について産業医と共有し、職員のストレスをサポートする体制を整えました。

○ 職員の採用および育成

新型コロナウイルス感染防止のため、学校等の訪問がほとんどできませんでした。フェア等の開催も中止が多く、思うように採用活動が行えませんでした。

- ・ 学校等訪問活動 大学 1校 高等学校 0校
- ・ 福祉の仕事フェア等への参加

岡山市 2回 津山市 4回 延べ面接者数17名 延べ参加職員数13名

- ・ 次代の人材育成として積極的に実習生等を受け入れました。

実 習 名 等	学 校 名 等	人数	期間(日)
介護等体験実習	美作大学	11名	各5日
介護実習	美作高校福祉コース 3年	1名	15日
社会福祉士相談援助実習	美作大学	2名	各25日

○ サービス調整会議 ～ご利用者の満足の為に～

1回開催／月

* 事業全般のサービス向上

- ・ 身体拘束適正化
- ・ 事故防止
- ・ 感染症及び食中毒まん延防止
- ・ 褥瘡ケア
- ・ 衛生管理
- ・ 苦情対応
- ・ 広報・行事企画
- ・ 地域交流事業
- ・ ワーク・ライフ・バランス
- ・ 各委員会活動報告（別紙4）

感染症及び食中毒まん延防止、事故防止、利用者の尊厳（身体拘束適正化）については、特に、職員への研修（下表参照）と対策の検討を行い、法人内の周知徹底を図りました。また、職員会議での周知及びユニットごとに研修開催を実施しました。

	研 修 内 容		研 修 内 容
4月	新型コロナウイルス感染対策について 身体拘束適正化、事故防止について	10月	インフルエンザ予防、感染性胃腸炎について、両立支援について
5月	新型コロナウイルス感染対策について 看取りケアについて	11月	ゾーニングについて、不適切ケアについて、腰痛予防について
6月	食中毒、脱水について、新しい生活様式について、皮膚トラブルについて	12月	新型コロナウイルス感染対策について、服薬、排泄ケアについて
7月	熱中症・脱水予防について、適正な言葉かけについて、	1月	ライフワークバランス、認知症、口腔ケア、皮膚の保湿について
8月	新型コロナウイルス感染対策について、緊急時対応、看取り期の理解について	2月	介護姿勢、ノーリフティングケアについて、褥瘡予防について
9月	ブレデンスケールについて、看取りケアマニュアルについて	3月	新型コロナワクチン接種について、リスクマネジメントについて

委員会・班活動

全職員参加による委員会及びチームを設置し、質の向上や課題への対応、新たな取り組みをすすめました。

- ・ リスクマネジメント委員会
- ・ アクティビティ委員会
- ・ ケア向上委員会（口腔ケア・排泄褥瘡予防・認知症ケア・看取りケアの4チーム）
- ・ 花と緑いっぱい委員会

※ 別紙5（委員会活動報告）

○ 事故防止・リスクマネジメント

事故防止と身体拘束適正化の取り組みを行い、安心して生活できる環境づくりと自立の支援に努めました。ユニットや専門職、多職種協働のカンファレンスを行い、多様な視点で事故の要因を探り事故の再発防止に努めました。また、よりよい事故原因の分析のため、事故報告やヒヤリ・ハットの様式の見直しを行いました。新たなリフトの導入に伴い、使用方法について、研修を行い、安全な使用を心がけました。また、ユニット内で起こった事故は、全ユニット、スタッフに伝達し、事故内容・対応策を共有する事で事故防止を働きかけました。

事故件数：20件

事故後カンファレンス回数：48件

事故内容	件数	事故内容	件数
転倒	4	骨折	2
転落	2	バルン抜去	2
配薬・服薬などの誤り	3	その他	4
表皮剥離	2		
打撲	1	合計件数	20件

・ 月別事故・事故カンファレンス

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
合計事故数	1	1	1	1	3	2	2	3	3	2	1	0	20
特養	1	1	1	1	3	2	2	3	3	1	1		19
短期										1			1
デイ													0
カンファレンス	2	2	2	0	7	6	3	10	10	4	2	0	48
特養	2	2	2		7	6	3	10	10	1	2		45
短期										3			3
デイ													0

○ 身体拘束適正化

利用者の尊厳と主体性を尊重し、拘束を安易に正当化することなく職員一人ひとりが身体的・精神的弊害を理解し、拘束廃止に向けた意識をもち、身体拘束をしないケアの実施に努めました。

委員： 施設長、事務局長、在宅部長、看護師長、介護士長、介護支援専門員、相談員、作業療法士、管理栄養士、通所管理者

委員会 毎月1回開催



○ 衛生管理

「健康経営優良法人2019」に認定（日本健康会議 令和2年2月21日）

腰痛対策 … 腰痛調査、ストレッチ

毎日入居者及び職員のラジオ体操実施

季節ごとの職場環境の不具合の調査と改善、施設・設備点検

メンタルヘルスケア … ストレッチ、ストレス解消法、ストレスチェック等

○ 職員研修システム

* 法人内における研修

1) 各分野における研修

研 修 会 名	開催日	講 師	参加人数
身体拘束適正化研修	R2.4.14	施設長	受講34名 レポート37名
コロナウイルス感染予防と介護上の留意点	R2.7.17~20	ビデオ視聴	69名
緊急時の対応・看取り期の理解	R2.7.29	看護師長	受講31名 伝達研修32名
食中毒の予防と手洗いの方法	R2.8.11	美作保健所職員	28名
リスクマネジメント研修	R2.8.19	作業療法士	受講27名 レポート34名
認知症サポーター養成講座	R2.9.7	市地域包括支援センター	22名
認知症サポーター養成講座伝達研修	R2.10.30	介護士4名	受講24名 伝達研修36名
リフレケア研修施設内研修 自立支援に向けた排泄ケアの取り組み	R2.11.18	介護士2名	20名
看取りケアの理解・看取りケアマニュアル	R3.1.29	ユニットリーダー	受講26名 レポート46名
リスクマネジメント研修	R3.2.10	作業療法士	受講23名 レポート38名

2) 新任者研修

開催日	主な研修内容	時間(分)	講 師	参加人数
R2.4.1 ～4.22 延16日間	法人理念、岡山県の社会福祉	40	理事長	6名
	高齢者の暮らし、生活の支援・住環境整備 身じたくの介護、入浴介助、排泄の介助 生活の中の危険、衣類の着脱、睡眠の介護等 ユニットケア、施設のルール・設備他	1,490	介護士長 介護主任 ユニットリーダー他	
	心と体のしくみと健康、感染対策、 緊急時対応、認知症の理解、嚥下の理解 高齢者に生じやすい疾患、終末期の理解等	1,180	看護師長 看護師	
	就業規則、教育体制と評価、 コミュニケーション、 身体拘束適正化、虐待防止	400	施設長	
	事業計画、組織、社会の理解、自立と尊厳	290	事務局長・次長	
	チームアプローチ	140	主任介護支援専門員	
	介護過程の展開	300	相談員	
	ICF、リハビリテーション、安全な暮らし	255	作業療法士	
	口腔ケア	150	歯科衛生士	
	介護技術	1,170	作業療法士	
	お花見イベント(入居者との関わり) ユニット滞在、振り返り等	1,050		
	総時間数(16日間)	6,465		

3) 新任者育成

プリセプターを中心としたチームによるきめ細やかな指導で、職員個々の知識と技術の向上に努めました。

一年間のマンツーマンの指導と、ユニット職員、多職種、幹部職員など、状況に応じた指導場面をセッティングしました。

指導者であるプリセプターのフォローが重要として、施設全体で大切に人を育てる体制を作りました。

- ・ プリセプティーミーティング
8回開催 延べ参加者数 62 名
- ・ プリセプターミーティング
3回開催 延べ参加者数 21 名



* 外部研修

認知症介護基礎研修、感染症対策研修会、虐待防止等ケアのスキルアップに資する研修や介護報酬改定に関する研修等のオンライン等の受講をしました。

※ 別紙3（研修等一覧）

《令和2年度資格取得者及び受講修了者》

- ・ 介護福祉士の取得者 1名 (28名)
 - ・ 介護職員実務者研修 0名 (7名)
 - ・ 認知症介護実践者研修修了者 0名 (13名)
- () 内は全体のR3.3.31の資格保持者及び受講修了者数

○ 組織強化

* 組織強化ミーティングの開催

毎月1回開催

社会保険労務士をコンサルタントとして、組織体制の強化、各部門の役割分担と連携、事業展開、地域貢献活動の構築等について検討を行いました。

- ・ 事業の方向性、各部門の役割と連携、経営者の果たす役割について
- ・ 就業規則の改定 ・ 組織体制の改善 ・ 人材の確保、労働環境

○ 令和元年度事業報告会の開催

入居者・利用者、家族及び地域住民等を対象に、事業の実施状況等の理解促進を目的として、所属長や専門職による報告会を開催しました。

日 時： 令和2年7月28日（火） 10:00～11:30

参加者： 11名

○ 第三者委員会の開催

本事業所に対する入居者、家族等からの苦情に適切に対応する体制を整えるため第三者委員会を設置しています。年度内の苦情の受付内容と、事故の内容・件数等の報告を行い助言をいただきました。

日 時： 令和2年5月28日（木） 12:00～12:40

出席者： 第三者委員、理事長、施設長、事務局長、在宅部長、事務局次長、看護師長、介護士長、介護士主幹、介護支援専門員、作業療法士、相談員

内 容： 苦情の内容及び対応について、事故報告について

第三者委員： 弁護士、サンシティうぐいす施設長、津山福祉会監事

○ 広報活動

入居者・利用者のお過ごしの様子、スタッフの取り組み等、イベントの紹介や日常の様子を発信を随時行い、広く高寿園を知っていただけるよう広報活動に努めました。おもちゃ図書館の利用状況などをリアルタイムに発信する為にツイッターのアカウントも開設しました。

- * 採用者向けパンフレットの更新 * 高寿園だよりの発行 3回／年
- * ホームページ・フェイスブック・インスタグラムの更新 随時
- * 研修等講師、外部団体のイベント等への派遣・参加

《特別養護老人ホーム》

【運営方針】

- 全てのご利用者に満足して頂ける高品質の生活支援サービスを提供します。
- 住み慣れた地域で最期まで、その人らしく、生活できる援助を行います。
- * 個々の利用者がそれぞれの「暮らし」が継続できる「ユニットケア」を行います。
- * 個別化を重視し、個々の自己実現に対し積極的にアプローチを行います。
- * ご利用者個々の安全で快適で健康的な生活の実現を目指したサービスを提供します。
- * 地域に親しまれる施設作りを目指し、地域と密着した事業・サービスを提供します。

○ 職員配置（令和3.3.31）

職 名	人 数	職 名	人 数
施設長	1	管理栄養士	1
生活相談員	2	調理員	4.5
介護士	36.8	栄養士	(1)
介護福祉士	(20.9)	作業療法士	1
看護職員	5	歯科衛生士	0.1
看護師	(3.7)	事務員	6.6
准看護師	(1.3)	運転手・環境整備員	2.6
介護支援専門員	2		

※人数は常勤換算により計算

（ ）は再掲

○ 医療連携

* 嘱託医

大海 庸世	（おおみクリニック）	隔週	水曜日回診
松下 明	（奈義ファミリークリニック）	隔週	水曜日回診
平井 龍三	（勝北診療所）	隔週	金曜日回診

* 産業医

大海 庸世 （おおみクリニック）

* 協力医師

赤枝 輝明 （津山東クリニック ： 内科、泌尿器科）

* 協力医療機関

積善病院	（精神科、神経科、内科、歯科）
津山第一病院	（消化器科、循環器科、整形外科等）
近光整形外科	（整形外科）
日本原病院	（内科、神経内科、循環器内科等）

* 協力歯科医療機関

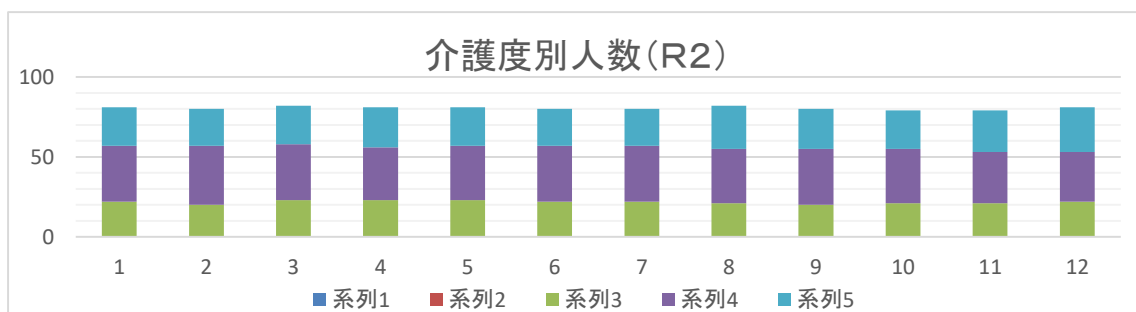
内田歯科クリニック

○ リーガルサポート

竹内俊一弁護士事務所

○ 入居者状況 （延べ日数：入院日は含まず、退院日を含む）

提供年月日	入居実延べ日数（上段）／人数（下段）						外泊,入院等	
	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計	延べ日数	人数
令和2年4月	0	0	660	1,028	684	2,372	24	3
	0	0	22	35	24	81		
5月	0	0	620	1,141	700	2,461	21	2
	0	0	20	37	23	80		
6月	0	0	656	1,004	720	2,380	14	2
	0	0	23	35	24	82		
7月	0	0	713	967	756	2,436	38	2
	0	0	23	33	25	81		
8月	0	0	709	1,017	736	2,462	7	1
	0	0	23	34	24	81		
9月	0	0	660	1,009	678	2,347	40	4
	0	0	22	35	23	80		
10月	0	0	640	1,073	677	2,390	53	2
	0	0	22	35	23	80		
11月	0	0	628	988	715	2,331	46	5
	0	0	21	34	27	82		
12月	0	0	620	1,032	674	2,326	118	8
	0	0	20	35	25	80		
令和2年 1月	0	0	645	999	647	2,291	147	9
	0	0	21	34	24	79		
2月	0	0	588	880	656	2,124	105	9
	0	0	21	32	26	79		
3月	0	0	648	926	781	2,355	110	9
	0	0	22	31	28	81		
合 計	0	0	7,787	12,064	8,424	28,275	723	56
	0	0	260	410	296	966		



月別入・退居者数

令和1年度末現員	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計	令和2年度末現員
80	入 居	1	0	2	1	1	1	3	5	2	3	2	3	24	80
	退 居	1	0	2	1	2	2	3	4	2	3	1	2	23	

市町村別 (R3.3.31現在)

市町村名	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合 計
津山市	0	0	19	27	25	71
鏡野町	0	0	2	1	1	4
美作市	0	0	1	2	0	3
奈義町	0	0	0	1	0	1
倉敷市	0	0	0	0	1	1
合計 (5市町村)	0	0	22	31	27	80

年齢と性別 (R3.3.31現在)

	60歳未満	60~64	65~69	70~74	75~79	80~84	85~89	90~94	95~99	100歳以上	合計	平均年齢
男性	0	0	1	3	1	3	4	2	0	0	14	81.5
女性	0	0	0	1	0	8	18	21	15	3	66	90.8
合計	0	0	1	4	1	11	22	23	15	3	80	89.2

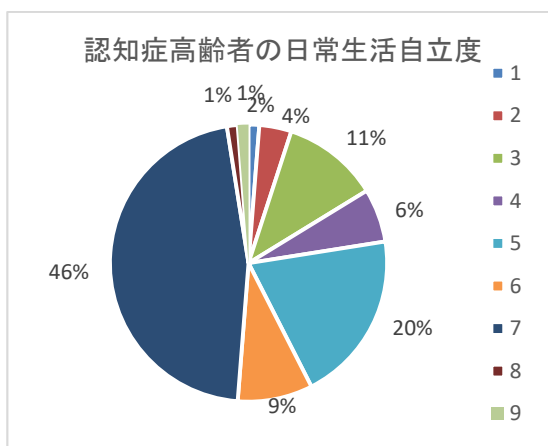
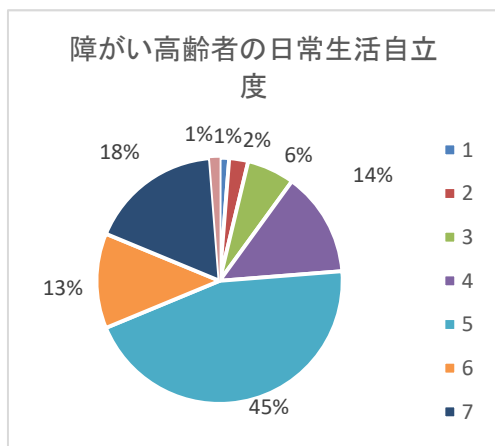
障がい高齢者の日常生活自立度 (R3.3.31現在)

	J2	A1	A2	B1	B2	C1	C2	その他	合計
人数	1	2	5	11	36	10	14	1	80

※その他：更新中

認知症高齢者の日常生活自立度 (R3.3.31現在)

	自立	I	Ⅱa	Ⅱb	Ⅲa	Ⅲb	Ⅳ	M	その他	合計
人数	1	3	9	5	16	7	37	1	1	80



入居者介護状況 (日常生活動作)

日常生活動作		人数	日常生活動作		人数
移動	車椅子	72	排泄	おむつ	49
	歩行（補助具あり）	6		トイレ（夜間おむつ）	20
	歩行	2		トイレ（常時）	11
食事	全介助	13	入浴	特浴	24
	一部介助	17		中間浴	21
	自立	45		個浴	35
	経管栄養	5			

在所期間 (R3.3.31現在)

	1年未満	1年以上 ～ 3年未満	3年以上 ～ 5年未満	5年以上 ～ 10年未満	10年以上 ～	合計	平均在所 期間
男	4	5	3	2	0	14	2年5ヶ月
女	12	30	12	12	0	66	2年11ヶ月
合計	16	35	15	14	0	80	2年10ヶ月

退居者内訳（性別）

男性	女性	合計
9	14	23

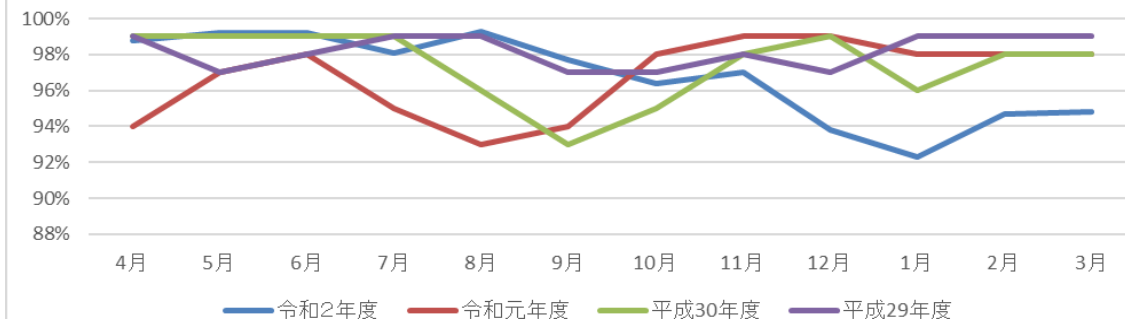
退居者内訳（区分）

死亡	入院	在宅	他施設	合計
17	6	0	0	23

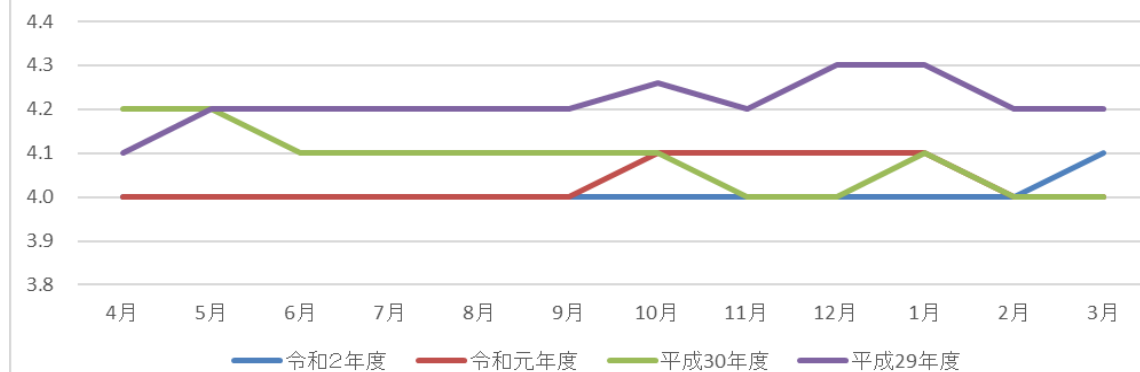
退居者（死亡者）内訳

老衰	心不全	癌	誤嚥性肺炎	肺炎	合計
8	4	1	2	2	17

月別平均利用率の推移(R2)



平均介護度の推移(R2)



1.生活相談援助

入居者・ご家族の不安やご要望を真摯に受けとめ、サービスの向上に寄与するよう、法人内専門職種の連携に努めました。

入居者の権利擁護に努め、その代弁者としての役割を果たすよう努めました。

地域福祉の拠点としての施設を念頭に、地域の福祉の向上に努めました。

医療・保健・福祉、行政、地域組織等、関係諸機関との連携の強化に努めました。

コロナ禍で待機者へのアプローチにおいても、できる限り面会もしくは写真・動画を情報として病院等から提供して頂き正確な情報収集を行い、適切な入居対応に努めました。

＊ 入居者・ご家族の生活相談援助

- ・新規入居者のご家族と密に連絡をとり、不安なく入居ができるよう努めました。
- ・話しやすい雰囲気づくり …相談室を整備し、気兼ねなく話ができるよう配慮しました。
- ・個別にお部屋に訪問して話を伺うなどそれぞれの「暮らし」が継続できるよう努めました。
- ・コロナ禍で退院される入居者に面会が出来ない場合が多く、より一層病院と連携し入退院時情報提供シート等の活用をとおして情報収集を行い、カンファレンス等で各専門職と共有し、退院後に安心した生活を送れるよう努めました。

＊ 入居待機者へのアプローチ

入居検討会議の開催	10	回
待機者面接	36	件
入居申込前の相談	96	件
入居申込件数	72	件

＊ 新規入居者受入に伴うカンファレンス

入居説明・調整	25	件
入居前カンファレンス	25	回
入居時カンファレンス	23	回

＜ 待機者状況 ＞ R3.3.31

要介護度別

要介護度	人 数
要 介 護 1	3
要 介 護 2	3
要 介 護 3	15
要 介 護 4	23
要 介 護 5	15
更新中・未確定	4
合 計	63

居所別

居 所	人 数	居 所	人 数
在 宅	25	サービス付高齢者住宅	0
老人保健施設	7	養護老人ホーム	0
有料老人ホーム	8	グループホーム	2
軽費老人ホーム	1	入院	20
合計		63	

2. ケアマネジメント その人らしい穏やかな生活の実現のために～多職種協働～

- ・ご本人・ご家族の意向をくみいれて、ご本人がご本人らしく、穏やかな日常生活を送れるように、施設サービス計画書を作成しました。
- ・体調維持、身体機能の維持・向上、日常生活のなかでの楽しみや生きがい等を考慮して作成しました。
- ・毎月開催するユニットケア会議では、各専門職参加のもと、サービス担当者会議を開催して、多職種間で協議しました。
入居時はご家族が出席されて会議を開催しました。
- ・定期的なモニタリングを行い、入居者の状況や支援の実施状況を把握しました。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
定期	14	7	8	9	5	6	4	7	5	5	10	9	89
入居時	1		2	1	1	1	3	5	2	3	2	2	23
退院前						1							1
看取りプラン									1			1	2
ショートステイ	3	1		2	3	1	7	2	2	2	2	3	28
合計	18	8	10	12	9	9	14	14	10	10	14	15	143

- ・認定調査立ち合い件数…33件

3. 介 護

入居者一人ひとりに満足・安心していただけるように、心身の状況、性格、適応性、理解力等を正確に把握するよう努め、施設サービス計画書（ケアプラン）に基づく統一されたケアの実施に努めました。また日常の生活を記録して職員間で共有し、支援目標やケアの見直しを行うなど、より適切なケアを追求しました。

暮らしの継続を基本とするケアを目標に、入居者の気持ちを尊重した関わりを行い、ご家族との連携を心掛けました。個別ケアの充実を図るため24Hシートの更新を行ない、常に適切なケアを提供しました。

清掃についての意識を高め、心配りが心磨きである事の浸透に努めました。清潔な環境の中で居心地の良い暮らしと働きやすい環境を作りました。

ケアが定着して、ユニット独自の特色も見えてきた中、施設ケアの統一が課題となり、特色を生かしつつケアの質の低下を招かないよう情報共有を密に行ないました。また、介護士の人員の確保が厳しい中、職員間の連携を図りチームワークを高めてケアを提供しました。

＊ 入居者が望む生活の実現と個別ケアの実施

入居者をお迎えする段階から、アセスメントを十分に行い、その人らしさを追求したケアを検討しました。

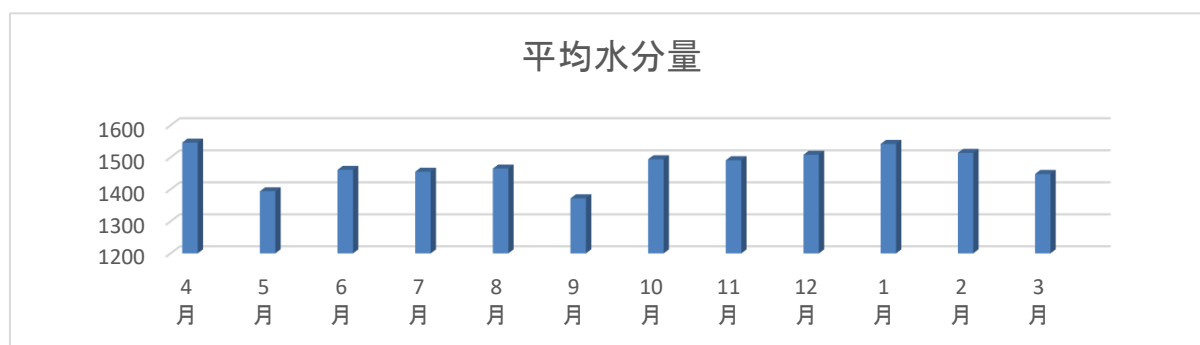
入居後は多職種が連携して、ケアプランに基づいたケアを展開しました。

毎月の「生活のご様子」をご家族へ発送しました。

＊ 入居者一人ひとりのかけがえない生命の確保

水、食事、排便、運動を基本として、介護の専門職として根拠に基づいたケアを実施しました。

- ・ 一日1,500～2,000cc以上の目標を設定して、個々の嗜好や個別の時間帯や量を把握して、目標達成できるよう工夫をしました。
- ・ 自然な排便が行えるように、センナ茶を飲用して薬剤に頼らないケアを行いました。
- ・ 食事の常食化への移行と維持に取り組みました。



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
平均水分量	1546	1394	1461	1455	1465	1372	1494	1491	1508	1542	1514	1448

＊ 入居者が意欲を持ち生きる喜びを感じてもらえる支援

食事目的の離床にとどまらず、日中のアクティビティをユニット単位で工夫しました。生活の中で楽しみを見だし生きる喜びや意欲につながる支援を行いました。また、ユニットの外での入居者間や職員との交流の場を作りました。

- ・ ユニット外へのお出掛け
- ・ サンプルームでのカラオケ
- ・ 施設全体の行事に向けての作品出展
- ・ ユニット体操
- ・ 個別アクティビティメニュー作成と実施



＊ 入居者の生活に潤いを与えて豊かにする支援

コロナ禍にて、ご家族とのご面会、外出や外泊がかなわない中、施設内、ユニット内での行事開催や日々の温かい関わりを大切にして不安の軽減や希望のある楽しい暮らしを支援しました。ユニットでの長寿をお祝いする誕生会は、家族でお祝いする誕生会のように温かさあふれ、入居者と家族に喜んでいただけました。

移動スーパーやパン屋の訪問販売は、買い物に出かけて選ぶ楽しみを感じ、訪問理美容師が訪れるヘアサロンでは、お気に入りのカットやカラーをしてもらい、おしゃれをしに出かける楽しみも感じていただきました。

- ・ とくし丸（移動スーパー） 毎週金曜日
- ・ ポエムパン（移動販売） 毎週水曜日
- ・ ヘアサロン（理美容師の訪問理美容） 月2～4回



《ヘアサロンの利用状況》

	カット	パーマ	カラー	顔そり		カット	パーマ	カラー	顔そり
4月	35		3		11月	33	1	3	2
5月	35	2	3	2	12月	28		2	
6月	36		2		1月	30	1	3	2
7月	34	1	3	1	2月	30	1	2	
8月	28		4		3月	30		2	2
9月	35	2	3	3	合計	384	8	32	12
10月	30		2						

《外出の状況》

月	入居者数	外出先	延べ日数	月	入居者数	外出先	延べ日数
4月	1	自宅	1	10月	1	自宅	1

《外泊の状況》 令和2年度 0件

《面会者の状況》

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
0	0	109	109	108	91	167	2	22	2	0	6	616

《オンライン面会者の状況》

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
0	19	5	4	1	7	9	18	23	27	22	24	159

コロナ禍で面会に制限があり、入居者、ご家族、スタッフそれぞれに苦しい1年でした。感染を回避しつつ面会の手段を最大限に工夫して検討していききました。個室面会、アクリル板設置、パーティション使用、ライン面会、zoom面会、窓越し面会など、感染状況に応じて対策、対応していききました。
ご家族でゆったりと過ごせる環境・雰囲気づくりに努めました。穏やかで嬉しそうにご家族と話をして過ごされるなど、ご家族だけの時間を大切にすることでご家族にも安心していただけたと思います。
また、ご家族とも馴染みの関係性を築くことで、おうちで過ごしていたころの様子やご希望等を伺うことができるなど、ユニットでのケアに理解と協力をいただきました。

＊ 適切なケアの提供と事故のない安全な施設生活の確保

入居者の自立した生活の支援のために必要な事項、取り組みの状況をユニット間で共有し、課題の解決に向けて協議しました。入居者の状態変化に伴うカンファレンス、事故発生後の再発防止カンファレンスを随時開催しました。事故防止の考え方の知識が身につく、適切なケアが提供できるようになりました。

＊ 身体拘束をしない為のケアの工夫

身体拘束をしない為のケアの実践をユニットがまとめて毎月発表して情報を共有しました。個別ケアの状況を知れ、他のユニットのケアの工夫が学べ施設全体のケアの質の向上につながりました。

＊ ユニットリーダー同士が課題を共有したり、取り組みの進捗について情報交換することで、全体的なケアの方向付け（ケアの理念に基づくケア）ができ、各ユニットに持ち帰って施設全体の浸透に努めました。

- ・ ユニットリーダー会議 毎月1回開催
- ・ ユニットミーティング 2ユニット毎 随時

＊ ユニットケアの充実に向けた取り組み

自立支援を基本とした個別ケアを実施しました。

- ・ 24Hシートの作成、改変、基づくケアの実施

ケアの中で変化に気づき、タイムリーな更新を行ないケアの向上に努めました。

※ 別紙4（ユニット報告）

4 生活の中の機能訓練

日常生活の中で、ご自身が持つ心身機能を生かし、安心した生活が送れるよう支援しました。ポジショニングの検討やシーティングの検討を行い、安楽に過ごせるよう工夫しました。定期的に身体機能や日常生活の評価を行い、お一人お一人に合った計画書を作成しました。計画書に基づいてリハビリ会議を行い、多職種間で協議し、協働して行いました。

・ リハビリ会議の開催

入居者 リハビリ会議 313件

入居時 リハビリ会議 23件 合計 336件

状態変化（入院等による変化）による計画書作成4件

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
件数	32	28	20	30	27	22	29	25	23	27	25	25	313
入居時	1		2	1	1	1	3	5	2	3	2	2	23
状態変化								1			1	2	4

・ グループ活動の実施

①リハカラ会

リハビリを目的にしたカラオケを行いました。（リハカラ会の実施。毎週水曜日）

- ・ 他者との交流（他ユニット間の交流）
- ・ 発声による嚥下機能の維持、向上
- ・ 離床する機会を持つ
- ・ 楽しむ場の提供
- ・ 発語の促し など

時間：14：00～15：00 実施回数：15回 参加者：延べ155名

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
参加人数	15	35	42	17	10	18	0	0	8	10	0	0	155
実施回数	1	3	4	2	1	2	0	0	1	1	0	0	15

②長寿の会

長寿の会は体力維持と入居者同士の交流を図る目的で、こけない体操の簡易版や口腔体操、茶話会をおこないました。毎週の会を楽しみにされ、活動性の向上につながりました。

2グループを週1回づつ（月曜・火曜）行いました。

時間：13：30～15：00 実施回数：55回 参加者：延べ309名

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
参加人数	24	27	30	30	24	18	33	21	23	31	28	20	309
実施回数	3	3	6	3	3	3	7	5	5	6	5	6	55

5.看 護

入居者の多くが複数疾患を持ち、高齢化と共に身体状況が重度化しています。日常の健康観察をこまめに行い、医療機関の協力を得て疾患の早期発見ができるよう健康管理に努めました。各職種と連携して状態を把握し、残存機能を最大限に活用できるよう援助しました。施設内感染症対策、食中毒の予防等、日常生活における環境衛生の保持に努めました。褥瘡ゼロの実現に向けたケアに努め、改善しました。高齢者の栄養状態、体力低下などの影響に対するアプローチ等に課題が残りましたが、引き続き褥瘡ゼロに向けてケアを継続していきます。

* 健康管理

健康で苦痛のない日々を送れるように一般状態のチェックを行い、医療機関への報告、受診を速やかに行いました。

- 健康診断 職員（パートを含む全員） 令和2年5月～7月 76名
夜勤職員 令和3年1月 27名

入居者 健康診断実施状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
体重測定	79	78	78	80	79	75	76	79	79	76	78	78	935
身長測定	3	2	5	3	4	5	6	5	5	5	3	4	50
尿検査	11	48	15	3	3	3	6	9	4	6	3	4	115
検便	1	45	3	1	1	29	7	5	2	5	3	3	105
血液検査	1	6	11	11	2	46	5	5	2	3	2	2	96
胸部レントゲン	1	0	2	1	1	1	55	5	2	3	2	2	75

※ 血液検査(中性脂肪、HDL,LDL,AST,ALT,γ-GT,空腹時血糖,A1c)

- インフルエンザ予防接種
令和2年10月14日～10月23日 全職員 75名
令和2年10月14日、23日、28日 入居者 75名

手浴・足浴

手浴・足浴（フットケア）をすることで、循環不全を予防し、四肢末端への血流改善につながるなど体調を整えるために実施しました。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
回数	27	23	11	24	58	24	11	12	9	0	3	3	205

＊ 施設での医療

重度化、高齢化が進んでいます。入居者の状態観察を行い、異常があれば早めに医療機関の受診をしています。夜間の対応も含まれています。

内科的な疾患だけではなく、専門病院への受診が多くありました。

※ 施設内月別治療状況

科目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
外科	245	202	274	352	392	335	350	519	660	656	689	718	5,392
内科	677	2611	782	369	291	251	216	294	378	330	488	442	7,129
眼科	450	465	420	420	444	498	515	512	530	535	521	620	5,930
皮膚科	745	755	730	730	921	775	802	721	721	721	602	682	8,905
歯科	6	2	2	7	3	3	3	6	8	8	4	4	56
医師来診	13	8	7	11	4	6	6	7	11	6	12	7	98
医師特診	0	0	5	2	8	1	0	5	3	7	2	2	35
経管栄養	180	186	170	150	155	150	144	165	132	104	104	155	1,795
留置カテーテル	2	2	2	3	5	5	5	3	4	4	3	3	41
救急手当て	35	42	41	58	42	57	49	79	49	39	53	56	600
定期与薬	2118	2211	2155	2242	2250	2152	2137	2092	2081	2050	1990	2172	25,650
その他薬	266	250	253	273	254	226	257	286	287	235	225	244	3,056
血圧測定	189	189	160	189	153	138	158	157	159	103	163	160	1,918
検尿	11	48	15	3	3	3	6	9	4	6	3	4	115
科目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
検便	1	45	3	3	1	29	7	5	2	5	3	3	107
血液検査	4	10	12	13	10	15	3	6	4	6	3	3	89
レントゲン	1	2	6	1	3	8	52	6	11	8	8	15	121
リハビリ	9	9	9	11	10	10	9	9	9	11	12	12	120
終末処置	1	0	2	1	2	1	3	3	1	1	0	1	16
合計	4953	7037	5048	4838	4951	4663	4722	4884	5054	4835	4885	5303	61,173

※ 施設外受診状況

科目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
眼科	0	1	0	1	0	2	2	3	1	1	3	4	18
皮膚科	1	2	4	1	1	3	4	2	1	1	0	0	20
歯科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
精神科	1	0	0	2	1	1	0	0	1	0	2	0	8
泌尿器科	3	2	3	6	6	4	2	5	5	2	4	3	45
内科	1	2	6	1	3	8	3	6	11	8	8	15	72
外科	1	1	11	13	9	7	8	4	1	1	0	4	60
整形外科	4	3	4	3	1	2	1	2	1	1	0	0	22
合計	11	11	28	27	21	27	20	22	21	14	17	26	245
延入院数	24	21	14	38	7	40	53	46	118	147	105	110	723

※ 施設内治療内訳

科 目	治 療 内 容
外 科	ガーゼ交換（一般傷、褥瘡）湿布
内 科	臨時与薬、酸素吸入、内科的治療注射、吸引、吸入、貼付薬
眼 科	点眼、軟膏塗布
皮 膚 科	軟膏塗布
留置カテーテル	膀胱洗浄、経管栄養、バルーンカテーテル交換
救 急 手 当	気道確保、応急処置
その他 与薬	緩下剤、浣腸、臨時与薬

※ 入院の状況

	入院理由	人数	入院延日数		入院理由	人数	入院延日数
4月	腎臓癌	1	5	1月	誤嚥性肺炎	2	58
	尿路感染症	1	10		肺炎	2	18
	下部消化管出血	1	9		統合失調症	1	8
5月	尿路感染症	1	7		メルケル細胞癌	1	26
	下部消化管出血	1	14		化膿性脊椎炎	1	23
6月	肺炎	1	8		心不全	1	8
	腎盂腎炎	1	6		慢性下痢症	1	6
7月	肺炎	1	30	2月	誤嚥性肺炎	2	7
	腎盂腎炎	1	8		急性前立腺炎	1	20
8月	左転子部骨折	1	7		化膿性脊椎炎	1	8
	左転子部骨折	1	8		心不全	1	28
9月	肺塞栓症	1	15		慢性下痢症	1	17
	尿路感染症	1	7		貧血	1	6
	心不全	1	10		骨折	1	16
10月	くも膜下出血後遺症	1	22		脾炎	1	3
	心不全	1	31	3月	心不全	1	2
11月	くも膜下出血後遺症	1	2		骨折	1	3
	肺炎	1	21		貧血	1	7
	誤嚥性肺炎	1	13		多臓器不全	1	9
	心不全	2	10		誤嚥性肺炎	2	26
12月	誤嚥性肺炎	3	41		脾炎	1	28
	肺炎	2	24		イレウス	1	17
	心不全	1	21		脳梗塞	1	18
	統合失調症	1	24	合 計		47	723
	メルケル細胞癌	1	8				

日々の心身状態の観察と状態把握の共有を図り、サインを見逃さないようにユニットに指導を行いました。

- * 夜間オンコールマニュアルの作成を行い、介護スタッフから夜間の報告がスムーズにできるようにしました。適確な報告を受けて、看護師は応急的な手当てを伝えることができた。
- * 看取りケア

多職種協働で入居者が最期に何を望んでいるかを考える場を設けました。最期の時まで経口摂取が実現できるようケアをしました。

- ・入居者が自分の部屋でご家族・職員に見守られながら旅立ちができるように援助しました。
- ・入居者が痛みの訴えなく自然に穏やかな旅立ちができるように、関わりを継続しながら細やかな対応を心がけることで旅立ちの前の不安を取り除く一助としました。

- ・看取り期とされた入居者に対し、ユニット職員、専門職が連携して穏やかに旅立ちができるようケアの方法や方針を共有するカンファレンスを行いました。
ご家族も参加され、揺れ動く思いやご希望などを職員と共有することで悔いの少ない看取りを行うことができました。
- ・グリーフケア
旅立ちの後、ご遺族とともに故人を振り返る機会を持ちましたが、コロナの流行で少ない機会となりました。ユニットの職員、専門職がご遺族とともにそれぞれの故人の思い出を語り、近親者を失う喪失感や心の痛みに寄り添いその軽減に努めました。
ご遺族だけではなく、スタッフもケアを振り返ることができ、互いに気持ちが穏やかになりました。看取り期から退居の日まで、細やかなカンファレンスや情報共有を行うことで、最期の日までご家族と協力してケアをすることができ、故人が旅立った後の心の負担の軽減ができたように思います。

《看取りのカンファレンス》

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
対象者	2				1								3
回数	2				1								3
出席者	8				4								12

《グリーフケア～振り返りのカンファレンス》

	出席者	回数	参加者数(延)
6月	家族・ユニットリーダー・ケアマネ・看護師長・相談員	1	6
7月	家族・ユニットリーダー・看護師長・ケアマネ・次長	2	8
9月	家族・施設長・看護師長・ケアマネ・作業療法士・相談員・管理栄養士	2	12
10月	家族・ユニットリーダー・看護師・相談員	1	4
	合 計		

* 口腔ケア

「口から全身の健康を守ります」

- ・口から全身の健康管理につながるような口腔ケアの提供を行いました。
- ・口の中の清潔を保ち、感染予防を行いました。
- ・口からいつまでもおいしく食べるための機能の維持と向上をはかりました。

歯科衛生士による入居者アセスメント件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
人	70	19	63	58	77	76	56	56	74	73	56	56	734

6.栄養管理

お一人お一人の栄養状態や食事摂取状況に応じた個々の栄養ケア計画に基づき、入居者の健康の保持増進に努め、低栄養の改善、予防、安全・安心で衛生的な食事の提供ができるよう努めました。

* 給食状況（R3.3.31）

主食状況	人数
ご飯	31
粥	28
ムース粥	10
パン食	15
経管栄養	4

副食状況	人数
常食	36
ソフト食	19
ゼリー食	22

療養食	人数
糖尿食	3
肝臓病食	0
減塩食	2
心臓高血圧食	4
腎臓病食	1

◎食事と経管併用の方1名

* 行事食等実施状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
行事食	1	1	1	2	1	1	1	1	3	2	1	1	16
希望食	0	0	1	2	0	0	1	0	0	0	0	0	4

- ・ユニットに関係なく入居者が集まって笑顔で楽しく過ごせるよう食事からの支援を行いました。6月、7月には入居者の方に2色のデザートを選んで頂き、季節に応じた手作り菓子を提供しました。

11月に屋台村を開催し、お祭りのような雰囲気の中で食事を楽しめました。

入居者同士の笑顔が多くみられました。

1人1日当たり給与栄養量

	エネルギー	タンパク質		エネルギー	タンパク質
4月	1480	55.0	10月	1462	55.0
5月	1440	55.6	11月	1441	54.9
6月	1448	55.2	12月	1446	55.5
7月	1447	55.3	1月	1445	56.0
8月	1448	55.0	2月	1442	56.1
9月	1456	56.1	3月	1410	53.1
基準値	1456	42.4	基準値	1458	42.5

※ 基準値は入居者の状態に併せて半期ごとに算出します。

残菜調査

献立作成時のメニューの組み合わせや調理方法等に活用していくために2ユニット毎、1週間の残菜調査を行いました。朝食・昼食・夕食時に毎回主食と副食の残量をそれぞれ計量しました。主食は全体的に残量が少なく、副食は残菜が多く見られる日もありました。

実施日：11月1日～28日

ユニット3・4から順次1週間ごとユニット9・10まで調査実施

栄養ケアマネジメント

入居者の低栄養状態のリスクを判定し、栄養状態の改善・褥瘡の予防に努めています。低栄養状態のリスク判断材料として、体重（BMI）、血液検査（アルブミン）、食事摂取量、褥瘡の有無、栄養補給法などの項目があります。

＜栄養ケア会議＞

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
開催回数	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	48
プラン数	32	28	20	30	23	22	29	25	24	27	25	21	306

・ 個別栄養ケア

- 1) 食事を主食：ムース粥、副食：ムースで提供していましたが食事摂取量が落ち、体重が大幅に減少していたため、多職種でカンファレンスを行いました。ご家族に好きな食べ物を持ってきてもらい、本人の希望に沿い主食を粥に変更、その後本人とも相談しながら食事形態や量を変更していきました。食事摂取量が増え、現在は主食：ご飯、副食：常食を毎食完食されており、体重も順調に増加しています。
- 2) 噛む力が弱く、飲み込みも悪いため主食：ムース粥、副食：ムースで提供をしていましたが、食事をほとんど食べられませんでした。そのため多職種でカンファレンスを行い、好んで食べられるパンに主食を変更、ジャムもお好きな味を選んでいただきました。その後は主食量を増やしたり、ご家族から甘いものが好きと伺い甘い間食を積極的にお出ししました。食事摂取量が少しずつ増え、体重も少しずつ増えています。

・ 食形態別低栄養状態リスク判別 (R3.3.31)

	常食	ソフト食	ゼリー食	経管栄養	合計
低リスク	20	5	3	0	28
中リスク	23	5	12	3	43
高リスク	4	2	1	2	9

・ 高リスク判定内訳 (R3.3.31)

体重減少	4
血清アルブミン	5
褥瘡	0

・ 栄養補助食品使用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計(人)
亜鉛強化 ジュース	2	4	4	4	5	5	6	6	6	6	6	6	60
高カロリー ゼリー	3	3	3	4	3	3	2	3	3	2	2	2	33
高カロリーゼリー (ジュレ)	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12

・ 栄養補助食品使用の目的 (R3.3.31)

補助食品のタイプ	カロリー保持	体重低下
亜鉛強化ジュース	5	1
高カロリーゼリー	1	1
高カロリーゼリー(ジュレ)	1	

○行事食

行 事 名	月 日	行事献立
お花見会	R2.4.7	<お花見弁当> 桜のちらし寿司、大根としいたけの煮物、菜の花の練り胡麻和え、茶碗蒸し、柔らか7種の野菜しんじょう、桜ようかん
端午の節句	R.2.5.5	オムライス(ケチャップソース)・エビフライ コンソメスープ・メロンゼリー
あじさい寿司	R.2.6.9	あじさい寿司・絹揚げと鶏肉の煮物 ほうれん草としめじの練りごま和え
七夕	R.2.7.7	七夕そうめん、大根と豚肉の煮物、マンゴー缶
土用の丑の日	R2.7.21	うな丼・高野のサイコロ煮・きゅうりの浅漬け
夏祭り	R2.8.7	かき氷、綿菓子、ジュース、お菓子
敬老お祝い会	R2.9.16	牛そぼろと卵の二色丼・白菜とちくわの煮びたし・黄桃缶 <デザート> フリーカットケーキ
秋祭り	R.2.10.1	さつまいもご飯・鮭のごま味噌焼き・茶わん蒸し 白菜のさっぱり和え
屋台村	R2.11.5	焼きそば・自然薯汁・パン・おでん

クリスマス	R.2.12.25	オムライス（野菜ソース）・レモンチキン、 アスパラのごまドレッシング・ミルクスープ
餅つき	R2.12.28	あんこ餅・きな粉餅
大晦日	R.2.12.31	晦日そば・ほうれん草の真砂和え 大根と豚肉の炒め物・みかん缶
新年会	R3.1.1	<おせち> 有頭海老の旨煮・合鴨スモーク・ほたて旨煮・数の子・高野豆腐 の煮物・伊達巻・絵馬蒲鉾・花三色・お煮め・黒豆・栗きんとん
お雑煮の会		お雑煮
節分	R3.2.3	チーズメンチカツ・イカフライ・高野のサイコロ煮 ブロッコリーとパプリカのコールスローサラダ・ミルクスープ 豆まきにちなんだお菓子（卵ボウロ）
ひな祭り	R3.3.3	ひし形寿司・厚揚げとふきの煮物・茶碗蒸し・黄桃缶・白桃缶 桜ようかん

《短期入所生活介護・介護予防短期入所生活介護》

【運営方針】

全てのご利用者に満足して頂ける高品質の生活支援サービスを提供します。

在宅生活の継続に向け、その人に合わせた自立の支援を行います。

- ＊ 個々のご利用者がそれぞれの「暮らし」が継続できる「ユニットケア」を行います。
- ＊ 個別ケアを重視し、残存能力の活用及び維持に向け積極的にアプローチを行います。
- ＊ ご利用者個々の安全で快適で健康的な生活の実現を目指したサービスを提供します。
- ＊ 他機関と連携し介護負担の軽減に向けて積極的な受け入れに努めます。

○ ショート職員配置 (R3.3.31)

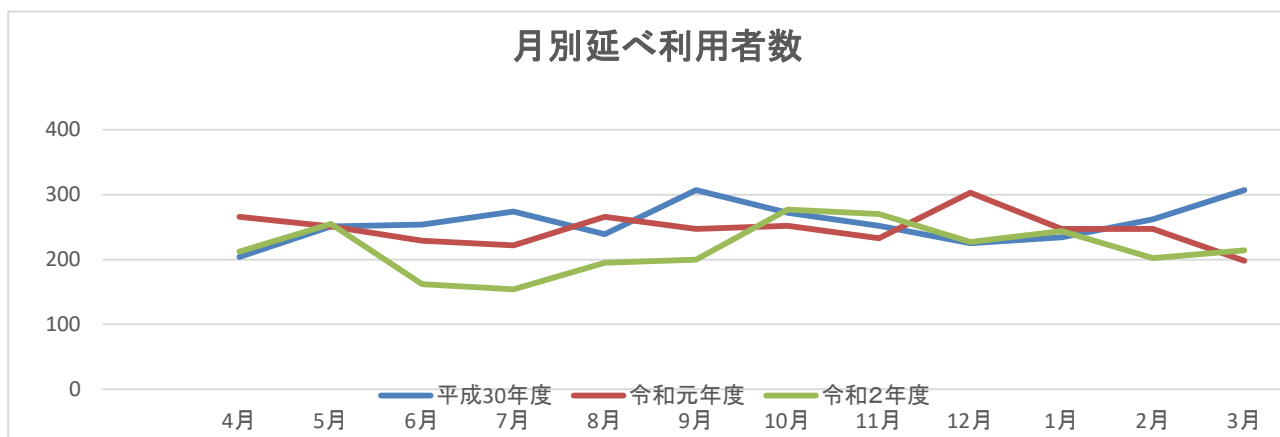
職 名	人 数
管理者	1 (特養兼務)
生活相談員	1 (特養兼務)
介護士	5.1
介護福祉士	(3.2)
介護支援専門員	1 (特養兼務)
調理員	特養兼務

※人数は常勤換算により計算 () は再掲



○ ショートステイサービス利用状況

	入所実人数 (上段) / 延べ日数 (下段)							合 計
	要支援1	要支援2	介護度1	介護度2	介護度3	介護度4	介護度5	
令和2年			3	8	7	3		21
4月			27	72	100	13		212
5月			3	3	5	3		14
			50	61	115	29		255
6月			5	5	7	3		20
			38	43	64	17		162
7月			3	7	3	4		17
			28	59	30	37		154
8月			3	7	3	3		16
			23	87	52	33		195
9月			4	9	3	3		19
			42	91	34	33		200
10月			6	8	2	9		25
			35	106	39	97		277
11月			3	11	3	7		24
			32	99	41	98		270
12月		1	1	6	4	6		18
		2	8	83	46	88		227
令和2年		1	1	7	4	9		22
1月		2	8	80	48	106		244
2月			1	6	3	6		16
			8	74	23	97		202
3月			2	5	3	6		16
			24	77	29	84		214
合 計	0	2	35	82	47	62	0	228
	0	4	323	932	621	732	0	2612



○ コロナ禍でのショートステイ

新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、家族にも体調チェック等をお願いしながら利用を継続しました。また、家族等が感染確認地域に往来しなければならない時、一時避難的な一定期間のご利用に対応しました。

○ ユニットケアのショートステイ

ショートステイユニットでは、家庭での生活が継続できるように、お一人おひとりの状態の把握に努めて個別のケアを行いました。本人はもちろん、家族の思いにも応えられるように、ユニットスタッフが連携してきめ細やかなケアを提供しました。すべてのご利用者が、心地よい空間で安心して過ごされるように、お部屋の清掃は徹底して行いました。また温かい声掛けと関わりを心がけました。生きがいややりがいを感じ、来園時より心も体も元気になって帰っていただけるようなサポートに努めました。

* ショートステイ利用の充足

- ・ 新規利用者数 18 件
- ・ 居宅サービス担当者会議出席 28 件
- ・ 初回面接等訪問、相談件数 8 件
- ・ 新規利用前ミニカンファレンス 15 件
- ・ ユニット型ショートステイの利用拡大に向け、市民及び居宅介護支援事業所等へ利用の案内等を作成して訪問するなど、周知に努めました。
- ・ 緊急時のショートステイ利用の相談体制を整えました。
- ・ サービス担当者会議

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
出席数	2	1	2	1	1	7	4	2	3	1	2	2	28

* ショートステイ利用中の介護

家庭での生活が継続できるように、利用前からの状態の把握と利用中の状態を観察して、適切なケアの実施に努めました。ご家族との連携を大切に、退所時に日々の暮らしの記録をお渡しする事と細かい伝達や相談、ケアの提案を行い、家族と共にご利用者を支えられるように努めました。家庭を離れて生活をされる中で、暮らしに楽しみを持ち、やりがいを感じていただけるように、アクティビティを充実させました。1年に一度の大切な記念日として誕生日会を行い、長寿を祝福しています。安全の確保の為に、危険を予測してケアを工夫しました。事故が起こった場合は、原因を追究して適切なケアを検討し、事故の再発防止に努めました。ご利用中に、ご要望をうかがい、ご満足を追求してサービスの質を高めています。コロナ禍にて長期間ご利用される方が多い傾向にあり、ご利用中にご家族に電話をして状況を報告したり連携を密にしました。

＊ ショートステイ利用中の看護

ショートステイ利用中も在宅での療養等が途切れないよう、ご家族、主治医、ケアマネジャー等と連携してご利用者の健康の保持に努めました。

また、予防接種の推奨、水分補給の重要性等をご家族と共有し、在宅・ショートステイの切れ間ない支援に努めました。

科目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
外科	5	3	0	0	0	0	20	27	27	0	0	0	82
内科	7	256	0	0	10	10	10	14	14	39	20	8	388
眼科	5	0	0	0	23	71	89	62	61	39	48	39	437
皮膚科	31	16	24	0	16	13	13	13	11	11	11	6	165
経管栄養	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
定期与薬	215	256	161	153	189	196	275	292	231	251	203	215	2,637
その他薬	5	4	4	0	3	3	27	16	5	5	5	2	79
合計	268	535	189	153	241	293	434	424	349	345	287	270	3,788

《地域密着型通所介護・介護予防通所介護》

住み慣れた地域で「自分らしい暮らし」が継続できるよう、丁寧なアセスメントを行い、個々のニーズに合ったサービスを提供できるよう努めました。身体機能（筋力）の維持・向上が図れるアクティビティプログラムや認知症予防を目的とした脳活性化エクササイズレクリエーション等のプログラムを取り入れ、楽しみながら心身の活性化を支援しました。他事業所との情報共有・連携を密に取り、ご利用者・ご家族が安心して在宅生活が送れるように努めました。

県内のコロナ感染者の増加、市内での感染者報告を受け、4/25～5/22の間、事業を休止しました。休止にあたりご利用者、ご家族のご意向を確認し、居宅介護支援事業所と連携して代替サービス事業者への情報提供と定期的な様子確認を行いました。また、再開にあたり自宅へ訪問しご意向確認を行い、感染予防を徹底してサービスを再開しました。

○ 職員配置（令和3年3月31日現在）

職名	人 数
管理者	1（特養兼務）
生活相談員	1
介護士	1
看護師兼機能訓練指導員	1（特養兼務）
運転手	1



○ 定員及びサービス提供日時

- ①定 員： 地域密着型通所介護＋介護予防通所介護 15名／日
 ②営業日： 月曜日～金曜日（12/31～1/3は除く） 239日／年
 ③サービス提供時間： 9:30～15:30

○ 提供サービス内容

- ①送迎 ②健康チェック ③入浴 ④食事 ⑤個々に必要な身体介護
 ⑥機能訓練 ⑦アクティビティ ⑧生活相談

○ 利用者状況（令和3年3月31日現在）

①年齢と性別（人）

性別 \ 年齢	70～74	75～79	80～84	85～89	90～94	合 計
男 性	0	1	2	0	0	3
女 性	1	0	2	0	7	10
合 計	1	1	4	0	7	13

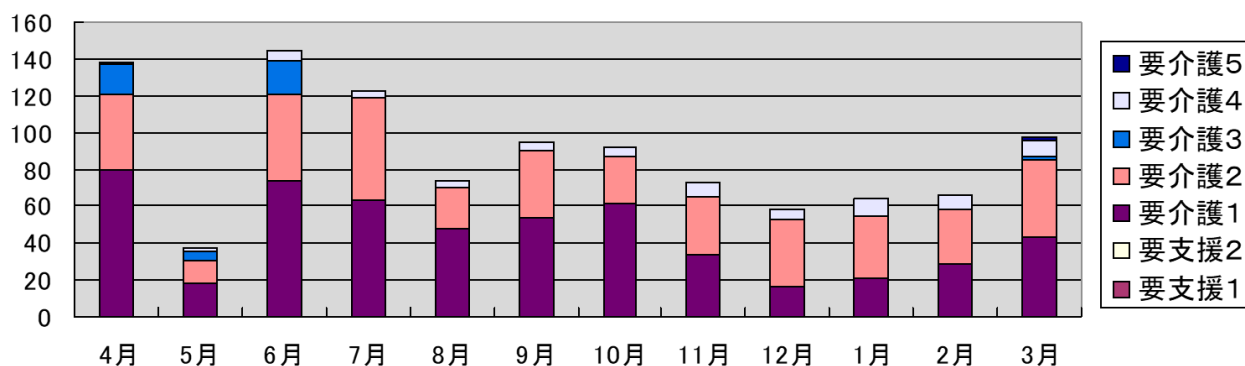
②介護度区分 (人)

介護度	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合 計
人 数	0	0	5	5	1	1	1	13

○ 月別利用状況（延べ利用者数）

区分 月	要支援		要介護					利用者数	
	1	2	1	2	3	4	5	合計	1日平均
4月	0	0	80	41	16	1	0	138	7.6
5月	0	0	18	13	4	2	0	37	7.4
6月	0	0	74	47	18	6	0	145	6.5
7月	0	0	63	56	0	4	0	123	5.3
8月	0	0	48	22	0	4	0	74	3.5
9月	0	0	54	36	0	5	0	95	4.3
10月	0	0	61	26	0	5	0	92	4.1
11月	0	0	34	31	0	8	0	73	3.4
12月	0	0	16	37	0	5	0	58	2.6
1月	0	0	21	34	0	9	0	64	3.2
2月	0	0	29	29	0	8	0	66	3.3
3月	0	0	43	42	2	9	2	98	4.2
合計	0	0	541	414	40	66	2	1063	4.6

※4/25～5/22休止



《ふれあい交流通所サービス（基準緩和型）》

介護を必要としない要配慮高齢者の生きがいづくりや閉じこもり予防、自立支援に向けてふれあい交流を中心としたサービスを提供しました。

○ 定員及びサービス提供日時

- ①定 員 ： 10名／日
- ②営業日 ： 火曜日・金曜日(12/31～1/3は除く)
- ③サービス提供時間 ： 9:30～15:30

○ 利用者状況（令和3年3月31日現在）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合 計
要支援1	4	0	4	5	3	4	3	0	0	0	0	0	23
要支援2	4	1	4	4	3	0	0	0	0	0	0	0	16
合 計	8	1	8	9	6	4	3	0	0	0	0	0	39

《元気いきいき通所サービス（短期集中型）》

今年度の実績はありません。

<別紙1> 令和2年度 役員会等の開催状況

・ 理事会の状況

開催年月日	理事	監事	決議事項
R2 .5.28	5名	2名	令和元年度事業報告・歳入歳出決算・監査報告 就業規則の一部改定、理事候補者の選任 定時評議員会の招集、職務執行状況の報告
R2 .6.11 書面決議	4名	2名	評議員選任解任委員の選任
R2 .7.28 評議員会と合同	6名	2名	新理事紹介 新型コロナウイルス感染予防対策について
R2 .10.26 評議員会と合同	6名	1名	令和2年度上半期の現状と今後の取り組み 新型コロナウイルス感染予防対策について 職務執行状況の報告
R3 .1.14	6名	2名	令和2年度第1次資金収支補正予算 定時評議員会の招集、職務執行状況の報告
R3 .3.9	6名	2名	令和2年度第2次資金収支補正予算 令和3年度事業計画、資金収支予算 定時評議員会の招集、職務執行状況の報告
R3 .3.26	4名	1名	運営規定の一部改正について

・ 評議員会の状況

開催年月日	評議員	監事	決議事項
R2 .6.12	7名	2名	令和元年度事業報告・歳入歳出決算・監査報告 理事・監事の選任、職務執行状況の報告
R2 .7.28 理事会と合同	7名	2名	新理事紹介 新型コロナウイルス感染予防対策について
R2 .10.26 理事会と合同	7名	1名	令和2年度上半期の現状と今後の取り組み 新型コロナウイルス感染予防対策について 職務執行状況の報告
R3 .1.29	7名	2名	令和2年度第1次資金収支補正予算 職務執行状況の報告
R3 .3.26	7名	1名	令和2年度第2次資金収支補正予算 令和3年度事業計画、資金収支予算 職務執行状況の報告

・ 監事会の状況

開催日 : 令和2年5月24日 出席監事 : 2名
令和2年度業務執行の状況及び財産の状況の監査

・ 税理士監査の状況

開催日 : 令和2年5月15日 税理士 : 1名
令和元年度事業運営の状況、規程等の順守、経理執行・財産の状況の監査

・ 社会福祉施設等指導監査、介護保険施設等の実地指導の状況

開催日 令和2年12月22日 岡山県美作県民局
結果 文書指導 指摘事項なし □頭指導 4件

〈別紙2〉 ボランティア行事

内容	開催日		参加者					ボランティア	
			入居者	ショート	デイ	職員	その他	人数	氏名・団体名
昔話・歌・体操等	R2.11.19	木	28	10	4	11		5	語りの会いろりばた
	R2.12.10	木	32	4	2	7		7	
	R3.1.14	木	30	9	3	6		5	
	R3.2.11	木	33	9	1	5		5	
	R3.3.11	木	36	8	4	10		5	
お花のプレゼント	R2.12.22	火				2		7	高倉小学校
ひまわりのプレゼント	R2.7.28	火				1		1	杉の森子供会
参加者・ボランティア合計			159	40	14	42	0	35	



行事以外のボランティア

内 容	月 日	人数	団体名
草刈り	R2.6.27 土	13	パナソニックコネクティッドソリューションズ労働組合

行事

行事名	開催日		参加者					ボランティア			費用
			入居者	ショート	デイ	職員	一般	人数	氏名・団体名	内容	
お花見会	R2.4.7	火	64	5	5	48					16,365
ガーデンランチ	R2.4.24	金	8			3					
お散歩企画	R2.4		77								1,254
	R2.5		77								
	R2.6		77								
端午の節句	R2.5.5	金	61	11		19					5,459
	R2.5.11	木									
ガーデンランチ	R2.5.10	水	8			3					
ガーデンランチ	R2.6.12	金	10			5					
書道クラブ	R2.6.14	日	12			4					
じゃんけん大会	R2.6.16	火	60	6	4	30					572
ガーデンランチ	R2.6.21	日	11			4					
ぐりーんカフェ	R2.6.22	月		7	5	6					
七夕祭り	R2.7.5	日	64	5	4	31					3,960
	R2.7.10	金									
いきいきショッピングフェア	R2.8.5	水	38	3	4	19		2	洋服の青山	商品運搬	296,950
夏祭り	R2.8.20	木	72	6	5	40					45,654
書道クラブ	R2.8.25	火	9	3	1	3					
絵はがき教室	R2.9.1	水	4	5		7					
カラオケ喫茶	R2.9.4	金	19	4	6	10					

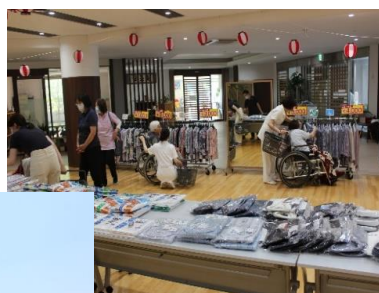
行事名	開催日		参加者					ボランティア			費用
			入居者	ショート	デイ	職員	一般	人数	氏名・団体名	内容	
生花教室	R2.9.14	月	20	7	2	11		2	生花講師	生花指導	
敬老お祝い会	R2.9.16	水	65	11	4	39					88,968
ガーデンランチ	R2.9.21	月	8			3					
ガーデンランチ	R2.10.6	火	10			3					
高倉神社 秋祭り	R2.10.17	土	28			5		2	高倉神社神主	祝詞	14,784
秋祭り	R2.10.21	水	80	11	7	9					19,974
寿司ボランティア	R2.10.21	水	24	8	5	25		2	なかもとや	握り寿司	29,100
屋台村	R2.11.5	木	57	7	4	32			輪輪かけはし	パン販売	120,143
									どんぐり工房	焼きそば販売	
									津山自然薯	自然薯販売	
いきいきショッピングフェア	R2.11.20	金	27	7	5	19		2	洋服の青山	商品運搬	140,540
書道クラブ	R2.11.28	土	15			3					
ボウリング大会	R2.12.9	水	50	7	3	22					
餅つき大会	R2.12.28	月	15	6	5	21					
生花教室	R2.12.28	月	15	2	2	8					2,548
新年福引大会	R3.1.1	金	18			13					
新春書初め会	R3.1.2	土	14	4		12					
初釜	R3.1.3	日	20	4		8					
新春カラオケ大会	R3.1.8	金	41	6	3	15					2,397
とんど	R3.1.15	金	40	10	4	16					
節分祭	R3.2.3	水	63	9	4	32					2,560
手作りおやつ	R3.2.8	木	70	7	6	6					4,262
書道クラブ	R3.2.18	木	9	3	1	3					940
入居者100歳お祝い会	R3.2.25	木	1			4	2				2,000
高寿園ひな祭り （展示）	R3.3.1～	月				20					
	R3.4.3	土									
ひなカフェ	R3.3.3	水	63	6	6	20					7,535
	R3.3.10	水									
彼岸供養	R3.3.22	月	16	7	4	7		1	個人	読経	12,521
キャンドルナイト	R3.3.26	金	別掲								45,834
参加者・ボランティア合計			1361	164	89	561	2	11	費用合計		818,486



敬老会 紅白歌合戦



お散歩企画



いきいきショッピング



生花教室

〈別紙3〉 令和2年度 研修等一覧表

※ 講師派遣

講習会等	日程	主催	場所	講師等	人数
介護福祉士実習指導講習会：講師	R2.8.25	県介護福祉士会	岡山県立大学	介護士長	1
実習指導者講習会：講師	R2.10.3	県社会福祉士会	きらめきプラザ	施設長	1

※ インタビュー等

	日程	主催	場所	参加者	人数
月刊 戦略経営者 取材	R3.2.3	(株)TKC	オンライン	事務局長・事務員	2
現任社会福祉士研修実践事例教材制作	R3.3	日本社会福祉士会	オンライン	施設長	1
特養における居住環境のあり方に関する調査研究	R3.3.11	(株)日本経済研究所	オンライン	施設長	1

※ 研修会等スタッフ協力

研修会名	日程	主催	場所	協力者	人数
感染症対策研修会：スタッフ	R2.7.10	県老施協	きらめきプラザ	施設長	1

※ 表彰等

研修会名	日程	主催	場所	受彰者
津山市社協会長表彰	R2.10.27	津山市社協	津山文化センター	介護士長
津山市長感謝	R2.10.27	津山市社協	津山文化センター	看護師長
全国老施協 感謝	R2.10	全国老施協		調理員
中国地区老施協 表彰	R2.10	中国地区老施協		調理員

※ 外部研修等

研修会名	日程	主催	場所	参加者	人数
新型コロナウイルス感染症対策研修会	R2.5.28	市介護保険事業者連絡協議会	津山市役所	看護師	1
事務職員研修(オンライン)	R2.8	全国老施協	高寿園内	事務員等	7
事故防止研修(オンライン)	R2.8	日総研	高寿園内	作業療法士	1
高齢者虐待防止研修	R2.9.2	県老施協	きらめきプラザ	介護士・相談員	2
給食施設研修会	R2.9.7	美作保健所	オンライン	調理員	1
福祉施設における災害支援プログラム検討会①	R2.9.14	県社協	きらめきプラザ	事務員	2
ACPファシリテーター養成講座①	R2.9.24	津山市在宅医療・介護連携推進協議会	リージョンセンター	施設長	1
新型コロナウイルス感染症等BCP策定支援研修(入所)	R2.10.2	県社協	きらめきプラザ	事務員	1
新型コロナウイルス感染症等BCP策定支援研修(通所)	R2.10.9	県社協	きらめきプラザ	相談員	1
認知症キャラバンメイトフォローアップ研修	R2.10.10	市社協	市総合福祉会館	事務員	1
コミュニケーション研修:初任者	R2.10.16	県社協	きらめきプラザ	介護士	2
ACPファシリテーター養成講座②	R2.10.22	津山市在宅医療・介護連携推進協議会	リージョンセンター	看護師	1
津山市社会福祉大会	R2.10.27	津山市社協	津山文化センター	看護師・介護士長	2
会計職員実務研修	R2.10.28	県社協	きらめきプラザ	事務員	1
高齢者消費者被害防止研修会	R2.11.2	津山市社協	津山市総合福祉会館	事務員	1
DWAT活動拠点法人説明会	R2.11.12	県社協	オンライン	施設長	1
人事・労務管理実務者研修	R2.12.1	県社協	きらめきプラザ	事務員	1
福祉施設における災害支援プログラム検討会②	R2.12.7	県社協	オンライン	事務員	2
介護支援専門員更新研修Ⅱ①	R2.12.8	岡山県	三木記念ホール	ケアマネ	1
介護支援専門員更新研修Ⅱ①	R2.12.16	岡山県	三木記念ホール	ケアマネ	1
ACPファシリテーター養成講座③	R2.12.17	津山市在宅医療・介護連携推進協議会	リージョンセンター	看護師	1
介護支援専門員再研修①	R3.1.7	岡山県	コンベンションセンター	相談員	1
介護支援専門員再研修②	R3.1.14	岡山県	コンベンションセンター	相談員	1
介護支援専門員再研修③	R3.1.19	岡山県	コンベンションセンター	相談員	1

研 修 会 名	日 程	主 催	場 所	参 加 者	人数
地域公益活動実践セミナー	R3.1.28	県社協	オンライン	事務員	1
介護支援専門員再研修④	R3.1.29	岡山県	きらめきプラザ	相談員	1
福祉施設における災害支援プログラム検討会③	R3.2.2	県社協	きらめきプラザ	事務員	2
介護支援専門員更新研修Ⅱ②	R3.2.4-5	岡山県	ターミナルスクエア	ケアマネ	1
SDG s webセミナー	R3.2.12	リコージャパン株式会社	オンライン	事務局長	1
社会福祉法人役員セミナー	R3.2.15	県社協	オンライン	事務員	1
介護支援専門員再研修⑤⑥	R3.2.17-18	岡山県	コンベンションセンター	相談員	1
災害派遣福祉チーム(DWAT)員養成研修	R3.2.19	県社協	オンライン	相談員	2
新型コロナウイルスワクチン接種説明会	R3.2.19	岡山県	オンライン	看護師	1
介護支援専門員再研修⑦	R3.2.24	岡山県	きらめきプラザ	相談員	1
在宅医療・介護を考える市民フォーラム	R3.2.27	津山市在宅医療・介護連携推進室	リージョンセンター		1
介護支援専門員更新研修Ⅱ③	R3.2.27-28	岡山県	ターミナルスクエア	ケアマネ	1
災害福祉支援セミナー	R3.3.1	県社協	オンライン	事務員	1
経営協セミナー(後期)	R3.3.2	県経営協	オンライン	施設長	1
介護職のための薬の知識	R3.3.3	介護労働安定センター	オンライン	ケアマネ	1
介護支援専門員再研修⑧⑨	R3.3.5-6	岡山県	きらめきプラザ	相談員	1
介護支援専門員更新研修Ⅱ②-1	R3.3.21	岡山県	ターミナルスクエア	ケアマネ	1
介護支援専門員更新研修Ⅱ②-2	R3.3.23	岡山県	ターミナルスクエア	ケアマネ	1
介護支援専門員更新研修Ⅱ③	R3.3.27-28	岡山県	ターミナルスクエア	ケアマネ	1
R2年度集団指導は資料配布	R3				

※ 会議等

会 議 名	日 程	主 催	場 所	参 加 者	人数
県老施協 第1回理事会	R2.6.9	県老施協	オンライン	施設長	1
市介護保険事業者連絡協議会施設部会	R2.6.26	市介護保険事業者連絡協議会	津山市役所	施設長	1
県老施協 第1回研修委員会	R2.6.29	県老施協	オンライン	施設長	1
県老施協 第2回理事会	R2.7.15	県老施協	オンライン	施設長	1
県老施協 第1回21世紀委員会幹事会	R2.7.28	県老施協	オンライン	事務員	1
津山市見守り協定事業所連絡会	R2.8.21	津山市	市総合福祉会館	相談員	1
北部圏域認知症キャラバンメイトチーム会議	R2.9.4	市社協	一宮公民館	事務員	1
県経営協 災害支援・地域共生部会	R2.9.30	県経営協	きらめきプラザ	事務次長	1
県経営協 人材確保・事業経営部会	R2.9.30	県経営協	きらめきプラザ	相談員	1
県老施協 第2回研修委員会	R2.10.1	県老施協	オンライン	施設長	1
県老施協 21世紀委員会パネル班	R2.10.28	県老施協	オンライン	事務員	1
災害支援・地域共生部会	R2.11.27	県経営協青年会	オンライン	事務次長	1
県老施協 第3回理事会	R2.12.14	県老施協	オンライン	施設長	1
元気いきいき通所サービス事業意見交換会	R2.12.15	津山市	津山市役所	相談員	1
第1回 津山市生活体制整備第1層協議体	R3.1.8	津山市	津山市役所	施設長	1
県老施協 第3回研修委員会	R3.1.12	県老施協	オンライン	施設長	1
北部圏域認知症キャラバンメイトチーム会議	R3.1.15	市社協	一宮公民館	事務員	1
老施協代議員選挙実行委員会	R3.1.25	県老施協	オンライン	施設長	1
県老施協 第2回21世紀委員会幹事会	R3.1.27	県老施協	オンライン	事務員	1
県老施協 第4回理事会	R3.2.12	県老施協	オンライン	施設長	1
相談援助実習担当者との情報交換会	R2.2.16	美作大学	美作大学	相談員	1
県老施協 第2回総会	R3.3.5	県老施協	きらめきプラザ	施設長	1
生活支援サポーター情報交換会	R3.3.11	津山市	津山市役所	施設長	1
県老施協 第4回研修委員会	R3.3.18	県老施協	オンライン	施設長	1
第2回 津山市生活体制整備第1層協議体	R3.3.24	津山市	津山市役所	施設長	1

※ 求人活動

催 事 等 名	職 名	日 程	人 数	場 所	主 催
福祉の就職総合フェア岡山夏		R2.7~8		オンライン	県社協
つやま合同企業説明会	部長・局長	R2.10.23	2	津山圏域雇用労働センター	岡山県
津山市地域雇用創造協議会合同就職面接会	部長・局長	R2.11.15	2	津山圏域雇用労働センター	津山市地域雇用創造協議会
介護就職面接会	部長・局長	R2.11.17	2	ハローワーク	岡山労働局
津山合同就職面接会	部長・次長	R3.2.6	2	津山圏域雇用労働センター	津山市地域雇用創造協議会
福祉の就職総合フェア岡山冬	部長・局長・事務員	R3.2.13	3	きらめきプラザ	県社協
お仕事座談会	局長・事務員	R3.2.24	2	第1セントラルビル	津山市広域事務組合
企業合同説明会	部長・事務員	R3.3.20	2	イオンモール	岡山県

〈別紙4〉 令和2年度 ユニット報告書

《ユニット3》

「一人一人の思いに寄り添い、明るく笑顔が絶えないユニット作り」を重点目標としてユニットスタッフ全員で取り組みました。

- ・24Hシートを活用し、その人に合ったケアが行えるよう努めました。
- ・優しい言葉掛けを意識し、一人一人が安心して笑顔で過ごせるよう思いやりのあるケアが行えるよう努めました。
- ・その人の暮らしにあった生活が出来るよう、関わりを多く持ち思いに応えられるよう努めました
- ・入居者同士の交流ができるよう、時には間に入り楽しく穏やかに過ごせるよう支援しました。
- ・月1回のユニットミーティングは行えませんでした。職員同士で情報共有し統一したケアが出来るよう努めました。
- ・ユニット行事費用：飲み物 ￥3000円～￥5000円
各行事の作品の材料費 ￥500円～￥1500円
日用雑貨 ￥3000円

《ユニット4》

『入居者が安心でき、穏やかに過ごせるような環境作り』を重点目標にユニットスタッフ全員で取り組みました。

- ・24Hシートを活用して、統一したケアができるように努めました。
- ・笑顔を忘れず、言葉遣いに気をつけ、安心してもらえるケアができるように努めました。
- ・月1回のユニットミーティングは行えませんでした。職員間で情報を共有、統一したケアが行えるように努めました。
- ・ユニット行事費用：飲み物 ￥3000円～￥5000円
日用雑貨 ￥3000円
行事用品 ￥1000円

《ユニット5》

『入居者一人ひとりの個性が尊重され、その人らしい暮らしの継続と心が豊かになるような関りを持ちます。』を重点目標としてユニットスタッフ全員で取り組みました。

- ・入居者一人ひとりにあったケアを提供する為に、しっかりと関りを持ちながら観察を行ない、24Hシートに反映出来るように心掛けました。
- ・定期的なユニットミーティングは開催できませんでしたが、スタッフ間で情報を共有できるようにU5・6共通の申し送り簿を活用しました。
- ・今後も、声にならなくても表情や体調の変化を見逃さないように、入居者の立場で考えて、心に寄り添う丁寧なケアを心掛けていきたいと思ひます。

- ・ユニットでのアクティビティは、塗り絵、折り紙、風船バレー、計算ドリル、雑誌などを豊富に用意して、個々にあったアクティビティを楽しめるよう勧めました。
- ・ユニットから出かける楽しみを感じていただけるよう、体調などに配慮しながら行事に参加して頂きました。入居者同士の交流もあり、楽しみを持って過ごして頂く事が出来ました。

ユニット費：クリスマスプレゼント ￥１００円／１人

各行事の作品の材料費 ￥５００円～￥１０００円

飲み物・日用雑貨 ￥５０００円～￥７０００円

ユニットミーティング：ユニット５・６合同 当日出勤者３～４名が参加

《ユニット６》

『一人ひとりにあった個別ケアを行い、その人らしい生活を送れるようにします』

- ・日々の関わりをしっかりと行い、コミュニケーションをとる中で、一人一人のニーズの把握に努めました。また、２４時間シートに反映し、活用出来る様にしました。
- ・面会が制限される中、声掛けをしっかりと行い、会話の機会をしっかりととれるようにして、不安感などの気持ちにも寄り添えるようにしました。
- ・ユニットのクリスマス会や行事参加などを通して、楽しみをもって過ごして頂けるようにしました。またユニット内に、造花や折り紙、タペストリーなどを活用し、季節感を感じられる様に環境を整えました。
- ・月一回のユニットミーティングはあまり開催できませんでしたが、ケアの統一が出来ていない状態はすぐに会議を行い、ケアの統一をはかるように努めました。

・ユニット費

行事用お菓子、クリスマスプレゼントなど ２，０００円

行事用（工作材料など） ２，０００円

日用雑貨・飲み物・掃除道具など ３，０００～６，０００円

- ・ユニットミーティング ユニット５・６合同 当日出勤者３～４名参加

《ユニット７》

『入居者一人ひとりの立場に立ち、笑顔で安心して生活ができるユニット作り』を重点目標として１年間ユニットスタッフで取り組みました。

- ・日頃から入居者一人ひとりの立場に立ち、毎日笑顔で安心して生活が送れるように寄り添い、楽しみを持ちながら行事に参加し、交流ができる機会をとれるよう努めました。
- ・新規の入居者には早く馴れていただけるように生活環境を整え、安心して過ごせるようにユニットの雰囲気作りを心がけました。
- ・月一回のユニットミーティングはあまり開催できませんでしたが、入居者一人ひとりの状態の変化などユニットスタッフで情報共有ができ、入居者が安心して過ごせるように努めました。

・ユニット費

誕生会用のケーキ ２，０００円

行事用（工作材料など） １，０００円

日用雑貨・飲み物 ３，０００～８，０００円

- ・ユニットミーティング ユニット７・８合同 当日出勤者４～６名参加

《ユニット８》

『入居者がその人らしい暮らしを継続できるようなユニット作り』を重点目標として一年間取り組みました。

- ・個別ケアを大切にして、それぞれの嗜好、起床時間等把握し安心して過ごせるようスタッフで情報を共有しました。

- ・ユニットで計画した行事が、なかなかできませんでしたが、会話の中やユニットから出てフロアーを散歩し、季節感を味わってもらえるよう心がけました。
- ・月一回のユニットミーティングはあまり開催できませんでしたが、文書などを活用し改善点や入居者の状態を伝達し、情報共有ができました。
- ・ユニット費

誕生会用のケーキ	1,000円～2,000円程度
行事用（工作材料など）	1,000円程度
日用雑貨・飲み物	5,000～8,000円程度
- ・ユニットミーティング ユニット7・8合同 当日出勤者4～6名参加

《ユニット9》

『入居者が楽しみを持ち、安心して安全な暮らしができるようサポートします』を重点目標としてユニットスタッフ全員で取り組みました。

- ・入居者がその人らしい暮らしができるよう24Hシートを活用しました。今後も更新と継続をします。
- ・スタッフ同士コミュニケーションをとり、報告・連絡・相談をスムーズに行えるよう工夫し統一したケアができるよう努力しました。
- ・定期的なユニットミーティングは開催できませんでした。来年度はユニットミーティングの開催に努め意見交換ができる環境作りに努めます。
- ・行事やイベントにできるだけ参加して頂き気分転換を図り、他の入居者と交流を持ち楽しんで頂けたと思います。
- ・プリセプター制による指導で個性を尊重した新人育成を行いました。

ユニット費：クリスマスプレゼント ￥100円／1回

各行事の作品の材料費 ￥500円～￥1000円／1回

飲み物・日用雑貨 ￥5000円～￥7000円／月

《ユニット10》

『入居者の心身の状況に合わせて、一人一人に合ったケアを行います。』を重点目標としてユニットスタッフ全員で取り組みました。

- ・できる限り今までの暮らしを継続し、その人らしい生活を送れるよう支援しました。
- ・行事やイベントがある際には参加を積極的に促し、変化のある日々を送っていただくよう支援しました。
- ・職員一人一人が入居者の健康状態に気を配り、異常があればすぐに報告するよう努めました。
- ・24Hシートを活用し、入居者一人一人に合ったケアを行えるよう努めました。
- ・プリセプター制による指導で個性を尊重した新人育成を行いました。

各行事の作品の材料費 ￥500円～￥1000円／1回

飲み物・日用雑貨 ￥5000円～￥7000円／月

〈別紙5〉 令和2年度 委員会活動報告書

○ ケア向上委員会

《排泄・褥瘡予防ケアチーム》

『褥瘡ゼロ（今ある方は治す・新しく作らない）』を目標に、ブレーデンスケールやOHスケールを使用して褥瘡発生リスクの評価を行い、個別の注意点を委員会にて確認しました。

施設内研修として看護師長が各ユニットで正しい陰部洗浄方法の実演講習を行いました。

排泄ケアについては、排泄用品の個々の使用状況を調べ、注意点の確認を行いました。リフレサポート講座参加者による伝達研修では、排泄用品を実際に身に着ける事で理解を深めました。

- ・ 委員会開催： 11回/年
- ・ 褥瘡リスクアセスメント： 6回実施（更新を含む）
- ・ 施設内研修の開催

『排泄・褥瘡予防研修』 2020/11/18

（内容：リフレスポート講座『紙オムツの基礎知識 当て方のポイント』）

《認知症ケアチーム》

認知症ケア委員会では、職員のストレスを減らし、認知症の理解を深める事で認知症に対するケアの仕方が変わり、入居者が安心して暮らしてもらえるのではないかと考えました。

- ・ 職員の助け合いについて考えました。

介護の制服着て、スタッフが仲良く協力できる体制である事をアピールできるように写真を撮り、ポスターを作成しました。

（R2年8月配布） テーマ：高寿園の助け合える仲間「ワンチーム」

伝えたいメッセージはスタッフが入居者を支える仲間である事

- ・ 認知症サポーター養成講座の研修（R2年9月7日）に開催
参加された職員の感想を元に委員会メンバーで話し合い、振り返りを行いました。
認知症サポーター養成講座で学んだ事を施設の職員に伝達していく必要性があるため、10月職員会議後に認知症委員会が開催しました。
認知症高齢者の不安な気持ちを理解した対応が大切であり、ガイドラインの基本姿勢と具体的な対応についてロールプレイを用いて説明しました。
- ・ 委員会開催： 9回/年

《看取りケアチーム》

・ 多職種協働で「入居者が最期に何を望んでいるか」を考える場を設けました。最期の時までご家族や入居者の気持ちに寄り添うケアに努めました。

・ 「緊急時の対応、看取りケアの理解、各専門職の役割」をテーマに委員会を通して、意見を出し合い、具体的で、現場で役立つケアの検討をしました。

・ 「死後の処置・必要物品手順書」、各専門職項目に分けた「看取りケアマニュアル」の作成をしました。その結果、看取り期とされた入居者に対し、ユニット職員、専門職が連携して穏やかに旅立ちができるようケアの方法や方針を研修等も通して全職員に共有することができました。

委員会開催：10回/年

○ リスクマネジメント委員会

リスクマネジメント委員会では『各報告書、事例検討の充実を行い、事故防止に繋げる』を目標にしました。ハット記録表を作成し、実施しましたがなかなか浸透せず、現在も検討中です。年2回の全職員に対する研修にて事故、ヒヤリハットの件数及び傾向を報告し、共有しました。

☆ 委員会の開催～毎月第2火曜日 15：00～

- ・ 全12回 開催
- ・ 研修内容の検討、ハットの実施方法の検討、半期・全期の事故報告
- ・ 事例検討～10回実施
 移乗時の車椅子からの転倒・車椅子から転落し頭部裂傷・原因不明の骨折・車椅子から転落（ケガなし）・PEG抜去・ベッドからの転落（ケガなし）
 誤薬（薬の取り違い）・原因不明の下腿裂傷（オンコール基準について）・ベッドからの転落・補聴器の紛失

☆研修～対象：全職員 場所：2階会議室～

- ・ 令和2年 8月18日
 - 1、令和元年度 事故及びヒヤリハット状況報告
 - 2、危険予知トレーニング（KYT）とは

3、グループワーク

KYTを実施

・令和3年 2月10日

1、令和2年 4月～9月 事故及びヒヤリハットの状況報告

2、グループワーク

事例を『ひやり』『ハット』『該当なし』に分ける。

○ アクティビティ委員会

「生活を活性化させる、楽しみの持てるアクティビティを計画する」と目標を立てて、委員会メンバーを中心に、各部署、各ユニットの協力を得ながら活動しました。コロナの影響でご家族と面会できない事や外部からの講師やボランティアをお願いできない為、生活の活性化を意識して、外出支援や職員の特技や趣味を把握して、多くの活動を実施しました。定期的に行っている書道クラブでは、今年度も『ふれあい書道展』へ出展しました。昨年に続き、『寿司ボランティア』来園は好評でした。「美味しい。」と、言いながら、握り寿司を口にしている表情は忘れられません。今年度は、『いきいきショッピング』を開催して、普段買い物に外出できない入居者に買い物を楽しんで頂きました。入居者のしたい事の実現に向けて、リクエストカードを作成して、計画を立てて実行しました。

クラブ・行事企画	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
書道		8	12		13	13		15	6	17	19	15	118
ガーデンランチ	8	9	19			8	10						54
寿司ボランティア							34						34
いきいきショッピング					39			29					68
散歩おまけ企画		42											42
折り紙教室											17		17
初釜										25			25
カラオケ喫茶						33				10			43
ピアノコンサート		30	11										41
生花教室						28							28
ヘアアレンジメント			3										3
リクエストカード	2		4				7						13

リクエストカードの支援

- ・将棋がしたい…1名
- ・ドライブ…2名
- ・自宅までドライブ（自宅に帰りたい）…10名

アクティビティ委員会：月1回開催 5～10名出席

○ 花と緑いっぱい委員会

今ある施設の植物を大切にすよう、水やり・草取りをフロアごとに分担して実施しました。委員以外の職員の協力を得て、水やりや植物の管理を行なう等、施設全体で取り組みました。草取り実施表を作成し、各担当場所の草取り実施状況を把握して共有をしました。

- ・委員会開催： 7回/年
- ・毎週火曜日 草取りを実施